

決議事項

第2号議案 令和3年度事業報告の件

令和4年6月16日

提案者 理事長 土屋大二郎

令和3年度社会福祉法人五常会の事業報告について、定款第32条(1)の規定及び理事會運営規程第21条(5)により、お諮り申し上げますのでご審議いただきたい。

記

1. 決議する事業報告書

- ・拠点 本部事業報告
- ・拠点 瀬戸の里事業報告
- ・拠点 清和寮事業報告
- ・拠点 福岡デイ事業報告
- ・拠点 みずなみ瀬戸の里事業報告
- ・拠点 ニツ森事業報告

2. 事業報告に関する監事監査

- ・実施日 令和4年5月6日

令和 3 年 度  
事 業 報 告



社 会 福 祉 法 人 五 常 会

## 令和3年度 社会福祉法人五常会本部 事業報告

基本的姿勢として年間を通し、定款に記載された人間愛、尊厳をもとに施設福祉・地域福祉の拠点として利用者満足度の高い事業展開ができる法人を目指しました。



## 令和3年度における経過及び成果

- ・ 法人全体で当該年度は資産 2,824,859,077 円・負債合計 822,374,341 円 純財産合計 2,002,484,736 円で決算を終了しました。当期活動増減差額は△10,026,638 円と平成 29 年度以来 5 年ぶりの赤字決算となりました。主たる要因は各拠点での介護保険料収入の大幅減、職員雇用拡大等による人件費の急増そして光熱水費の高騰や新型コロナの影響も受けました。
- ・ 今期役員・評議員改選期で、理事・監事は再任となり、評議員については 2 名が交代しました。
- ・ 本年度から法人財源確保の観点から各拠点に定員按分による経費分担を実地しました。
- ・ 新規事業として令和 4 年 1 月から居宅介護支援事業所「五常会ケアプランセンター中津川」を中津川市中津川 3367-1 にあるデイサービスセンターゆうわ苑内に開設、ケアマネジャー不足に対応しました。
- ・ 新型コロナウイルスに関しては年間を通じ標準予防策実施しました。5 月・9 月・2 月にみずなみ瀬戸の里、1 月に瀬戸の里職員各 1 名が陽性となりましたが、関係機関と連携をとり拡散を防ぐことができました。
- ・ 理事会等本部関連の会議はすべてハイブリッド会議（対面・Web 選択）となり、外部、事業所単位でも各種外部会議・研修の中止又は Web での実地で新型コロナウイルスの影響を受けました。
- ・ 特養利用者が対象の対面での施設行事及び地域交流については全面的に中止となりました。
- ・ 職員給与別表の改訂を実地し、ベースアップ同様の措置を図り「改善手当」を新設し職員の処遇改善し賃金の底上げを図りました。
- ・ 働きやすい職場を目指し、岐阜県ワーク・ライフ・バランス（W・L・B）エクセレント企業・岐阜県介護人材育成制度（G2）の基準をクリアし再認定を受けています。
- ・ 一誠会、戸井福祉会との 3 法人による連携推進法人の設立検討を理事会報告し、八王子にて用水氾濫による洪水想定で共同の訓練を実地し「災害時支援」についても協議しました。
- ・ 人材確保については、様々な機会をとらえた求人活動と社会情勢も影響し一定の成果を得ることができました。外国人雇用に関しては E P A 制度の他、特定技能・技能実習生も加わり、国籍もベトナムからフィリピン他多国籍化してきました。

## 法人番号・所在地等

岐阜県	21	中津川市	206	法人番号	1200005008959			
住所	中津川市瀬戸 1387-8		Tel	0573-65-3141	Fax	65-5178	Mail	Info@gojoukai.or.jp

## 法人の理念

地域の皆さんと共に 地域の高齢者の皆さんが生き甲斐を持って より楽しく より健康に より安心して 過ごしていただけるようお支えするのが 私たちの願いです
--

## 評議員

定員	7名	現員	7名	交代の有無	有	全員の報酬総額	56,000円	
評議員氏名	小栗正敏	小島由城経	梶田幸一	柏原美之	桂川邦俊	張山あけ美	山本亮	

## 理事

定員	6名	現員	6名	交代の有無	無	全員の報酬総額	754,880円(含交通費)	
理事氏名	土屋大二郎	高橋明範	内木良治	松下正伸	水野敬生	向晃良		

## 監事

定員	2名	現員	2名	交代の有無	無	全員の報酬総額	128,000円	
監事氏名	知久隆雄	西尾國明						

## 評議員解任選任委員

定員	4名	現員	4名	交代の有無	無			
外部委員	兼松一夫	委員	知久隆雄	今井均	加藤佐紀			

## 評議員選任解任委員会開催状況

	開催日・開催状況	定数4名	主たる議題	評議員選任・法人ガバナンス報告	
1	令和3年6月24日	4名	新任	桂川邦俊・張山あけ美 退任	市岡・井畑を承認

## 評議員会の開催状況

	開催日・開催状況	定数7名	主たる議題
1	令和3年6月24日 (ハイブリッド会議)	評議員6名・欠席1名 監事2名・新2名同席	決議 1.令和2年度事業報告 2.令和2年度監事監査報告 3.令和2年度財産目録 4.令和2年度計算書類 5.役員改選(理事・監事)

## 理事会の開催状況

	開催日	定数6名	主たる議題
1	令和3年5月27日 (ハイブリッド会議)	理事6名 監事2名同席	決議 1.評議員選任・解任委員再任 2.推薦する評議員候補 3.選任解任委員会招集 4.評議員会招集 5.評議員会に推薦する理事・監事候補 6.理事長・常務理事選任 7.監事監査報告 8.令和2年度事業報告 9.財産目録 10.計算書類 11.第1次補正予算報告 1.社会福祉充実計画 2.理事長及び常務理事の職務執行状況 3.資金運用状況 4.新型コロナウイルス発生及び対策状況
2	令和3年11月18日 (ハイブリッド会議)	理事6名 監事2名同席	決議 1.第2次補正予算 2.運営規程改定 3.幹部職員の下期賞与査定及び目標設定 4.居宅介護支援事業所設置 報告 1.理事長及び常務理事上期職務執行状況 2.上期収支状況 3.みずなみ瀬戸の里寮建設計画 4.新型コロナウイルス対応状況 5.外国人介護職雇用推進・検討状況 6.関西電力による地役権設定に係る協議
3	令和4年3月24日 (ハイブリッド会議)	理事5名 欠席1名 監事2名同席	決議 1.令和4年度事業計画 2.令和4年度予算 3.令和3年度補正予算 4.就業規則改定 5.給与規定(別表)改定 6.育児・介護休暇の改定 7.職場におけるハラスメントの防止に関する規程制定 8.業務委託先事業者の更新 報告 1.令和3年度業況 2.外国人介護職採用状況報告及び採用計画 3.処遇改善計画 4.社会福祉連携推進法人設立検討 5.みずなみ瀬戸の里寮宿舍建設構想

## 監査対応【法人監査・介護保険監査等】

日時	監査等の機関	指導事項等
※介護保険監査が予定されたが、新型コロナウイルスの影響で中止又は延期で年度中は監査無		

## 法人本部職員の人数

常勤専従職員	0名	常勤兼務者の実数	理事長他5名	非常勤職員0名	常勤換算1.0名
--------	----	----------	--------	---------	----------

## 前年度に実施した事業等の概要

コード	拠点名	名称	種類等	定員	管理者等
01	本部	社会福祉法人 五常会		-	土屋
02	瀬戸の里	特別養護老人ホーム瀬戸の里	指定介護老人福祉施設	100	向
		同 (短期入所)	指定短期入所	5	向
		瀬戸の里デイサービスセンター	地域密着通所	18	大庭
		西在宅介護支援センター	市委託事業	-	宮原
		瀬戸の里地域包括支援センター	市委託事業		伊藤(恵)
		瀬戸の里ケアプランセンター	居宅支援	-	垣内
03	清和寮	養護老人ホーム中津川市清和寮	市指定管理	45	土屋
		中津川市デイサービスセンターゆうわ苑	地域密着通所	18	二村
		五常会ケアプランセンター中津川 (新規事業 令和4年1月1日開設)	居宅支援	-	栗田
04	福岡デイ	福岡デイサービスセンター	通常型通所	25	佐藤
		福岡ショートステイ事業所	基準該当短期	3	佐藤
05	みずなみ 瀬戸の里	特別養護老人ホームみずなみ瀬戸の里	指定介護老人福祉施設	80	高橋
06	二ツ森	特別養護老人ホーム二ツ森	指定介護老人福祉施設	55	糸魚川
		二ツ森ショートステイ	指定短期入所	5	早川
		二ツ森デイサービスセンター	地域密着通所	10	今井
		二ツ森居宅支援事業所	居宅支援	-	鎌田

認可等機関 指定→岐阜県又は中津川市 地域密着・基準→中津川市 指定管理→中津川市

## 法人直轄委員会

委員会名	活動内容
人事戦略委員会	諸規程の整備・人材活用・職員給与見直、介護人材グレード2 認定更新
品質向上委員会	不適切ケア排除のチェック等 (中止) 満足度調査 介護ロボット検討
広報委員会	ホームページの見直し パンフレットの作成
特養委員会	稼働率対策 運営規程統一化 感染症対応力強化 科学的介護への取組
デイサービス委員会	収益改善 科学的介護への取組 ICTによる業務省力化

※人事戦略委員会・デイサービス委員会以外は感染症対策により、集合して会議を実地することができず、目立った成果をあげることができなかった。

## 地域における公益的な取組

	事業名	事業名	担当地区
1	瀬戸の里ワンコインサロン	中津川市集中型一般介護予防事業	苗木
2	西あんきなくらぶ	中津川市集中型一般介護予防事業	西

## 透明性の確保に向けた取組状況

公表有	事業報告・財産目録・事業計画書・苦情処理結果・監事監査結果・附属明細書
公表無	第三者評価事業 → 未実施
公表有	ZEB リーディングオーナー (環境庁/経済産業省 HP)

## 今後の取組課題

1	適正な人員確保と職員のキャリアアップ・人事考課の導入
2	科学的介護情報システム (LIFE) 等を活用した介護の適正化
3	新型コロナウイルスワクチン接種後の with コロナ時代に沿った業務見直し
4	法人の継続性、新たな体制確保に向けた取組 BCP作成
5	社会福祉連携推進法人の検討
6	2024 年度介護報酬改定に向けた情報収集と対応検討 総合事業拡大等

## 働き方に関する各制度の認定状況

1	岐阜県ワークライフバランス・エクセレント企業
2	岐阜県介護人材育成事業者 グレード2
3	岐阜労働局 はつらつ宣言事業所

令和 3 年 度  
事 業 報 告



特別養護老人ホーム瀬戸の里  
瀬戸の里デイサービスセンター  
瀬戸の里ケアプランセンター  
中津川市瀬戸の里地域包括支援センター  
西在宅介護支援センター



## 令和3年度 特別養護老人ホーム瀬戸の里 事業報告

ここ数年の課題であった人材確保については、4月から4名の入職者を確保と途中でEPAフィリピンの介護福祉士候補生4名を確保することができました。ただ人材が多様化する中で、介護現場でのOJT・生活支援も含め人材育成のため尽力するも、より時間が必要なケースが増えストレスを感じることも多くなってきている現状があります。

新型コロナウイルス感染症においても、長期化の中で日々の感染者数に戸惑いや不安感ストレスが増し、利用者にも精神的不安定さが見え隠れする一年となりました。

令和4年年明け早々に職員1名の陽性者が判明しましたが、職員及び関係機関の連携で拡大することなく終息を迎えました。家族からの激励の言葉に、職員一同勇気と力をもらい励みとなりました。緊急事態宣言・まん延防止等の発出のたび面会を制限することになり、その都度利用者も変化の受け入れができず、苦悩を与えてしまう結果となる事もありました。その後も職員家族周辺での感染も多く勤務者確保など影響を受け続けていますが、基本的な感染予防対策を継続し安心安全な生活を目指しました。

稼働率向上に向けては一昨年の93.02%から94.14%と微増しましたが、目標値95.00%は未達成で引き続きの課題となっています。稼働率の向上で、収入は昨年比9,922千円増となりましたが、人件費17,527千円と急増し当期活動増減差額は14,716千円で昨年より△6,568千円となりました。

ショートステイにおいては、やはり新型コロナウイルス感染症の影響は続いています。が、わずかながら目標を達成することができました。居宅介護支援事業所との連携をさらに深め、地域から信頼される事業所となれるよう努力していきます。

利用者処遇の課題としては、ほぼ毎日のようにヒヤリハットが発生し徐々に事故件数も増加しています。社会的にフレイルが課題となっていますが、施設内も主の介護業務に追われ自立支援に向けた細やかな活動ができない状況となっています。新型コロナウイルス感染症の影響もありますが、社会資源を活用できる環境整備が必要だと考えます。

今後の課題としては、令和2年度は『職員退職者ゼロ』を達成することができましたが、令和3年度末から令和4年度上期において退職者が急増する結果となり、人材確保と育成が喫緊の課題となっています。有給休暇の取得しやすさなど働きやすい職場を目指していますが、厳しい現実が目前に迫っています。職員間に今までにない大きな壁ができてしまったことは、人材育成が全く機能していなかったと猛省しています。

人材確保と育成・利用者の尊厳の保持・環境整備など課題山積ではありますが、居宅部門との連携も取り合い、課題克服にあたりたいと思います。

入居者状況

(実人数)

(人)

区分		男	女	合計
入所者数		18	80	98
年間	入所	7	22	29
	退所	7	19	26

	男	女
最高年齢	97	103
最小年齢	64	65
平均年齢	85.1	88.9
	88.1	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		3	1	4	1	3	1	3	3	2	3	3	2	29
内訳	在宅			2				1	3	2	2	1	1	12
	病院	1		0										1
	老健他	2	1	2	1	3	1	2			1	2	1	16
退所者		1	5	2	2	3	1	3	2	2	5	0	0	26
内訳	死亡	1	5	2	2	3	1	3	2	2	5	0	0	26
	入院													0
	家庭復帰													0
	その他													0

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	365	1,012	6,274	14,321	11,979	33,951
今年度	1,095	1,117	5,407	13,998	12,745	34,362

平均要介護度	4.1	定員	36,500人	稼働率	94.14%
--------	-----	----	---------	-----	--------

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
0	4	7	18	24	8	33	4

食事形態

3月末現在

主食				副食					入所者数
常食	粥	ミキサー	経管	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
27	43	24	4	21	37	12	24	4	

事故報告状況

(延べ件数)

転倒・ずれ落ち	誤薬	誤食	誤嚥	裂傷	合計	保険適用件数	ヒヤリハット
9	4	2	0	2	17	3	362

※「転倒・ずれ落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限る

苦情相談件数

(延べ件数)

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
2	0	1	0

身体拘束状況

(延べ件数)

4本柵対応	ミトン使用	介護衣着用	安全ベルト使用
0	0	0	0

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活 相談員	介護支援 専門員	介護職員	看護職員	管理 栄養士	機能訓練指 導員	事務員	その他	合計
常勤(A)	1		1	1	36	2	1	1	2	2	46
非常勤(B)		1			7	5		1		2	16
非常勤の 常勤換算(C)		0.1			3.7	2.9		0.1		0.8	7.6
(A)+(C)	1	0.1	1	1	39.7	4.9	1	1.1	2	2.8	53.6

※厨房業務⇒日清医療食品に業務委託

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	1 人	正看護師	5 人
介護福祉士	27 人	准看護師	3 人
介護支援専門員	4 人		

短期入所(ショートステイ)事業年間利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													
支援2													
介護1	6	6			3	4	8	6	4		6	3	46
介護2	45	50	29	30	43	39	14	21	12	42	22	16	363
介護3	4	8	10	10	10	13	26	35	43	41	36	26	262
介護4	21	22	10	9	13	7	21	23	8	2			136
介護5			3	3	3	3	3	3	8	3	5	5	39
合計	76	86	52	52	72	66	72	88	75	88	69	50	846
	利用定員		1,825		稼働率		46.36%						

## 行事報告

4月	花見 開園記念	開園記念 握り寿司会食 お花見 (家族へ送る写真撮影) 綿あめ・駄菓子	4月15・16日
5月6月 合同行事	青空喫茶	散歩 ピロティでおやつタイム	6月21・29日
	青空喫茶	ピロティでおやつバイキング	6月25・26日
7月	清涼祭	流しソーメン おやつバイキング	7月20日
8月	瀬戸の里 夏祭り	利用者・職員のみ参加 カラオケ大会 食べ物多数	8月7日
9月	敬老会週間 敬老の日	敬老のお祝い (握り寿司会食)	9月16日
10月	瀬戸の里運動会	各階対抗運動会 焼きたて五平餅会	10月22日
11月	ふる里会食	握り寿司会食 家族へ送る写真撮影とメッセージカード作り	11月8日
12月	クリスマス会	忘年会 (職員による寸劇披露)	12月23日
1月	初詣	初詣外出 館内での初詣 絵馬作成	1月6・7日
2月	節分	職員が鬼になり利用者と一緒に楽しむ	2月17日
3月	ひな祭り	ひな壇飾り アプリを利用した仮装 (お雛様・お内裏様) 体験	3月8日

## 職員内部研修等

日時	研修内容	実施機関
4月13日	感染症対策研修会 (実技)	看護師 小南明子
4月15日	新職員 基礎力向上研修	ワーカーサポートセンター (三菱電機ライフサービス株式会社)
6月18日	接遇 (言葉と記録) 研修会	いきいきネットワーク 北村圭吾氏
7月1日	不適切ケアチェックリスト実施	瀬戸の里拠点職員対象
7月13日	高齢者虐待予防研修会	のぞみが丘ホスピタル 白井潤一郎先生
9月3日	看取り研修会	いきいきネットワーク マイハート倶楽部 高須賀香奈美氏
10月21日	新人介護技術研修	岐阜県介護福祉士会会長 浅井タヅ子氏
11月18日	特定給食施設等災害対策研修会	恵那県事務所振興防災課 金森啓一氏
11月30日	高齢者虐待予防研修会	一般社団法人 ぎふネットワーク代表理事 白井潤一氏
12月15日	認知症介護基礎研修	岐阜県介護研修センター
1月24日	LIFE研修会	岐阜県老人福祉施設協議会
毎月	事故対策検討勉強会	介護職
毎月	オンライン動画研修	特養職員
その他老協他関係団体研修会に参加		

## 令和3年度 瀬戸の里デイサービスセンター 事業報告

令和3年度は大幅な稼働率の減少がありました。コロナ感染症による稼働率の減少も理由にはありますが、大きな要因として利用者の入所や入院、利用終了の件数が非常に多かったことが挙げられます。稼働率の減少の中、どのようにしたら増員に繋がるのかを模索し、利用者と事業所とをつなぐケアマネジャーとの連携に注力し、利用者目線での情報の共有を行うことで事業所としての魅力を間接的にですがお伝えをし、ケアマネジャーを通して、利用者、家族に選んでいただける事業所を目指しました。又、利用者は瀬戸地区、苗木地区、一部の中津川地区に在住されている方が利用の主な対象者でしたが、事業所所在地からの近い範囲に留まらず遠方に住まわれている方の受け入れも行いました。

コロナ禍で、事業所の活動も以前と比べ大幅に変化をしました。外出企画の余暇活動が事業所の大きな魅力の一つでもありました。しかし、現在は事業所内での活動が中心となり、自立が必須な在宅生活には欠かせない機能訓練に力を入れた余暇活動、個別での機能訓練の活動の実績が上がってきており、コロナ禍の中にあっても事業所の活動内容は裾野が広がりました。職員の人員については1名が異動、2名の職員が退職、1名が中途採用にて入社をしました。介護や看護、相談援助業務の経験年数が10年以上の職員が5名在籍しています。業務遂行の中で、実務経験が豊富な職員の存在は、個々の利用者に対しての適応力が多いことを意味しています。働き慣れた環境の中で、実務経験の豊富な職員が在籍していることは事業所としての強みでもあります。

令和4年度は、事業所としての情報の発信は必要不可欠と思われます。理由は、実際に新規の利用者や家族に事業所のパンフレットをお渡しした時に、家族の方から、利用者の病気が原因で生活の様式が様変わりし、家族自体が介護の生活に困っている中、たくさんの事業所があるのに何も情報がなく、何を根拠に選べばよいのか分からなく困っていたとの言葉がありました。パンフレットに限らず、事業所として介護の方針、内容、様子について常に利用者や家族、ケアマネジャーに言葉や視覚的に情報を発信することを、より一層心掛け、事業所としての存在を示していき、稼働率の向上につなげていきたいと思えます。経験豊富な職員が多いことは強みだと記しましたが、後進の育成にも力を入れていきたいと思えます。そのためには経験豊富な職員の意見が優先されるのではなく、分け隔てなく意見を言い合える職場環境の育成が必須です。事業所内の生活環境の見直しも行いたいと思えます。利用者がより一層過ごしやすい場をつくり、業務の効率化・介護事故の予防にも努めていきます。

令和3年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500149			定 員 (A)		18人		総合事業 △6有
事業所名	瀬戸の里デイサービスセンター			3月利用実人員		26人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～土(年未年始を除く)		
報酬単価  各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月  ※1認知症加算は個別加算の為 対象者のみ加算  ※2要支援1・2の昼食間食は 一回720円×利用回数	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,720	34,280	7,500	8,870	10,280	11,680	13,080
	入浴加算			400	400	400	400	400
	サービス提供体制強化加算 (I)イ	880	1,760	220	220	220	220	220
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	※1 認知症加算 (個別加算の為含めず) 介護職員処遇改善加算 (I)			600	600	600	600	600
	介護職員特定処遇改善加算 (I)	1,038	2,126	506	586	670	752	835
	※2 昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
	利用料日額≒合計	18,850	38,599	9,898	11,366	12,876	14,375	15,875

要支援は一か月単価表記

	令和3年度実績	令和2年度実績	前年比較	苦情	
稼働日数	308日	308日	0	令和3年度	令和2年度
平均年齢	87.15歳	87.33歳	-0.18	0	0
男女別人員	男849人 女2019人	男1654人 女2386人	—	第三者委員へ報告数	
平均介護度	2.3	2.5	-0.2		
要支援 I	51人	15人	36		
要支援 II	13人	35人	-22		
要支援合計	64人	50人	14		
要介護 I	738人	1,051人	-313		
要介護 II	722人	1,250人	-528		
要介護 III	565人	484人	81		
要介護 IV	479人	912人	-433		
要介護 V	300人	293人	7	職員等の状況	
要介護合計	2,804人	3,990人	-1,186	兼務の場合は主職種	
年間総合計	2,868人	4,040人	-1,172	常勤	非常勤
年間総定員	5,544人	5,544人	0	管理者	1
稼働率	51.73%	72.87%		相談員	2
計画回数	4,158人	4,450人	-292	介護士	2
達成率	68.98%	90.79%		看護師(機能訓練)	1
				支援	0

## 令和3年度 行事報告

月	行事名	内容【各一週間目処】	人数	担当
4	工作・クイズ	新聞紙でかぶとや紙鉄砲を作る 押し花、スタンプ工作	10～15 123名	横井
	花見ドライブ	桜の名所をめぐりドライブ 季節を感じていただく	12～15 38名	中村
5	工作	色紙を使いカーネーションやアジサイの工作	5～13 66名	松葉 松原
	防災訓練	地震を想定した訓練 新聞紙で災害用スリッパの制作	10～14 24名	
	頭の体操	ドミノ、計算プリント、認知症予防トレーニング、回想法	9～14 56名	
6	工作	アジサイの工作や藤の花短冊作り	10～12 94名	小幡
	苑内喫茶	好きな飲み物を選んでいただき、喫茶の雰囲気を感じていただく	10～13 46名	鈴木
7	季節の工作	七夕飾り工作を作成し、季節を感じていただく	8～10 55名	岡島
	頭の体操	カードパズルの制作を個々にて行いカードパズルを使用して頭の体操	6～10 94名	伊藤
8	工作	紙コップで、かえる、ペンギン、風鈴を作る 新聞を長く切るゲーム	6～12 102名	中村
	頭の体操	旗揚げゲーム、ドミノ、言葉プリント、計算プリント、しりとり	5～12 79名	吉村
9	防災訓練	大雨による水害を想定した訓練	7～10 24名	小幡 松原
	工作	十五夜の季節を感じていただく飾りつけを制作	7～12 43名	
	映画観賞	プロジェクタースクリーンを使用しての上映会	5～9 23名	
#	工作	折る、切る、貼るなどの作業を通じ手指の機能の維持、向上を図る	6～11 86名	松葉
	頭の体操	ホワイトボードを使用し、言葉探し、しりとり。塗り絵、点つなぎ	5～10 40名	鈴木
#	紅葉ドライブ	夕森公園へ行き紅葉を楽しむ	8～9 25名	小幡
	運動系ゲーム	社協で借りた玩具を利用した体を動かす遊びの提供	6～12 68名	伊藤
#	工作	クリスマス工作として、毛糸の吊るし飾り作り 折り紙工作	7～12 72名	岡島
	苑内喫茶	クリスマスケーキを食べながら季節感を味わっていただく	12名	中村
1	初詣	近くの神社、仏閣に初詣へ出かける	9名	小幡
	初釜	初釜にて新年を祝う	7～13 28名	松原
2	節分工作	節分工作として壁飾り作り。新聞紙を丸めて豆を作り豆まきゲーム	6～7 26名	岡島
	頭の体操	動体視力物当てゲーム パズルゲーム	5～9 77名	中村
3	工作	お雛様工作 季節を感じていただく	6～12 53名	松葉
	運動系ゲーム	玩具を使用した体を動かすゲームの提供	6～10 72名	伊藤
年間通して		手作りおやつ(毎月3回)・カレンダー色塗り(月末) 口腔体操(毎日)・機能低下予防体操(毎日)		

※尚、各行事に不参加の方にはその都度、各利用者に適した個別レクリエーションを提供（月初めに計画）

※生活に則した機能訓練や歩行訓練は、日課の中で希望者へ提供

令和3年度 瀬戸の里ケアプランセンター 事業報告

1 介護支援専門員の状況

R4/3/31現在

介護支援 専門員数	2.5 人	内 訳	常 勤	専従	2 人	非常勤	専従	0 人
				兼務	1 人		兼務	0 人

2 給付管理の状況

提供月	給付管理件数 (A)	支援専門員数 (B)	平均件数 (A)÷(B)
4月	68	2.5	27
5月	69	2.5	27
6月	68	2.5	27
7月	64	2.5	25
8月	66	2.5	26
9月	70	2.5	28
10月	66	2.5	26
11月	62	2.5	24
12月	69	2.5	27
1月	69	2.5	27
2月	65	2.5	26
3月	66	2.5	26
合計	802	2.5	26.0

(小数点以下切り捨てて記載)

担当者別 件数	担当	垣内	向井	前田		合計
年間件数 新規件数		257件	317件	228件		802件
		2件	10件	13件		25件

(\*新規件数=ケアプランの依頼を受けたうち、初回に給付管理を行った場合 + 介護度が2段階以上変化し、初回加算を算定した場合 )

終了件数(人)	入所等	9件	死亡	11件	変更	6件	合 計	26件
---------	-----	----	----	-----	----	----	-----	-----

(変更=居宅支援事業所変更：予防給付への移行 及び 高齢者専用住宅等入居に伴う居宅支援事業所の変更含む)

・前年度との比較

	給付管理月取り扱い 件数	新規件数	終了件数	昨年より配置人員が 0.5人減った事によ り取り扱い件数にも 影響した。
令和2年度	78件	32件	24件	
令和3年度	66件	25件	26件	
差	▲12件	▲7件	2件	

〈介護度別利用者数の割合〉

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護 3~5の割合
49 %	26 %	10 %	10 %	2 %	23 %

(小数点以下四捨五入して記載)



3 居宅介護支援費の請求状況

居宅介護支援費（Ⅰ）を算定 （取り扱い件数40未満）	要介護 1・2	10,530単位/月
		10,570単位/月
	要介護 3・4・5	13,680単位/月
		13,730単位/月

（下段は令和1年10月報酬改定後単価）

提供月	介護度別件数		支援費	介護度別件数			支援費	支援費合計
	介護1	介護2		介護3	介護4	介護5		
4月	34	20	599,350	7	5	2	183,870	783,220
5月	35	17	560,040	7	8	2	238,830	798,870
6月	36	17	578,810	6	7	2	209,850	788,660
7月	33	17	542,500	6	7	1	200,860	743,360
8月	31	19	540,500	6	7	3	228,340	768,840
9月	32	22	587,580	6	8	2	231,840	819,420
10月	33	17	544,010	7	7	2	229,700	773,710
11月	31	17	516,480	7	5	2	195,720	712,200
12月	35	17	571,520	9	6	2	237,660	809,180
1月	34	17	554,760	8	8	2	259,640	814,400
2月	33	16	529,240	7	7	2	231,680	760,920
3月	34	15	533,240	9	6	2	240,660	773,900
合計	401	211	6,658,030	85	81	24	2,688,650	9,346,680

令和3年4月から管理者が包括と兼務する事になり、人員配置が0.5となり、特定事業所加算が取れる体制を3人のケアマネジャー配置ができず、特定事業所加算Ⅲができなくなった。

4 加算・減算の適用について  
（加算の状況）

加算項目（1単位 100円）	単位	円	件数	加算額
特定事業所加算Ⅲ	300	3,000	0	0
初回加算（初回または2段階変更）	300	3,000	23	69,000
入院時情報連携加算Ⅰ	200	2,000	10	20,000
入院時情報連携加算Ⅱ	100	1,000	1	1,000
退院・退所加算	450	4,500	1	4,500
緊急時居宅カンファレンス加算	200	2,000	0	0
小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	300	3,000	0	0
ターミナルケア加算	400	4,000	1	4,000
加算額合計				98,500

（減算の状況）

運営基準減算の適用	減算の適用 なし
-----------	----------

運営基準減算が適用される場合

居宅介護支援の業務が適切に行われえない場合、所定単位数×0.5を算定  
運営基準減算が2ヶ月以上継続している場合は所定単位数を算定しない

特定事業所集中減算の適用	減算の適用 なし
--------------	----------

**特定事業所集中減算が適用される場合**

対象期間中に〔訪問介護・通所介護・福祉用具貸与〕において、正当な理由なく特定の法人へのサービス計画が80%を超えた場合、減算適用期間の居宅介護支援費の全てについて200単位/月を減算

前期判定期間〔3月1日～8末日〕 ⇒ 減算適用期間〔10月1日～3月31日〕

後期判定期間〔9月1日～2月末日〕 ⇒ 減算適用期間〔4月1日～9月30日〕

\*注 平成27年の介護報酬改定に伴い、居宅介護支援の公平・中立性を更に推進するため、平成27年9月以降の特定事業所集中減算の要件が変更となった。

●訪問介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 株式会社ツクイ		(事業所) 株式会社ツクイ 中津川	
前期	104	55	52.8%
(法人名) 株式会社ツクイ		(事業所) 株式会社ツクイ 中津川	
後期	122	63	51.6%

●通所介護において、紹介率が最も高い法地域密着型通所介護の件数を含む

期間	訪問介護が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 社会福祉法人 五常会		(事業所) 瀬戸の里DSC、ゆうわ苑DSC	
前期	285	145	50.8%
(法人名) 社会福祉法人 五常会		(事業所) 瀬戸の里DSC、ゆうわ苑DSC	
後期	271	130	47.9%

●福祉用具貸与において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名) 株式会社トーカイ		(事業所) 株式会社トーカイ 中津川営業所	
前期	209	131	62.6%
(法人名) 株式会社トーカイ		(事業所) 株式会社トーカイ 中津川営業所	
後期	216	138	63.8%

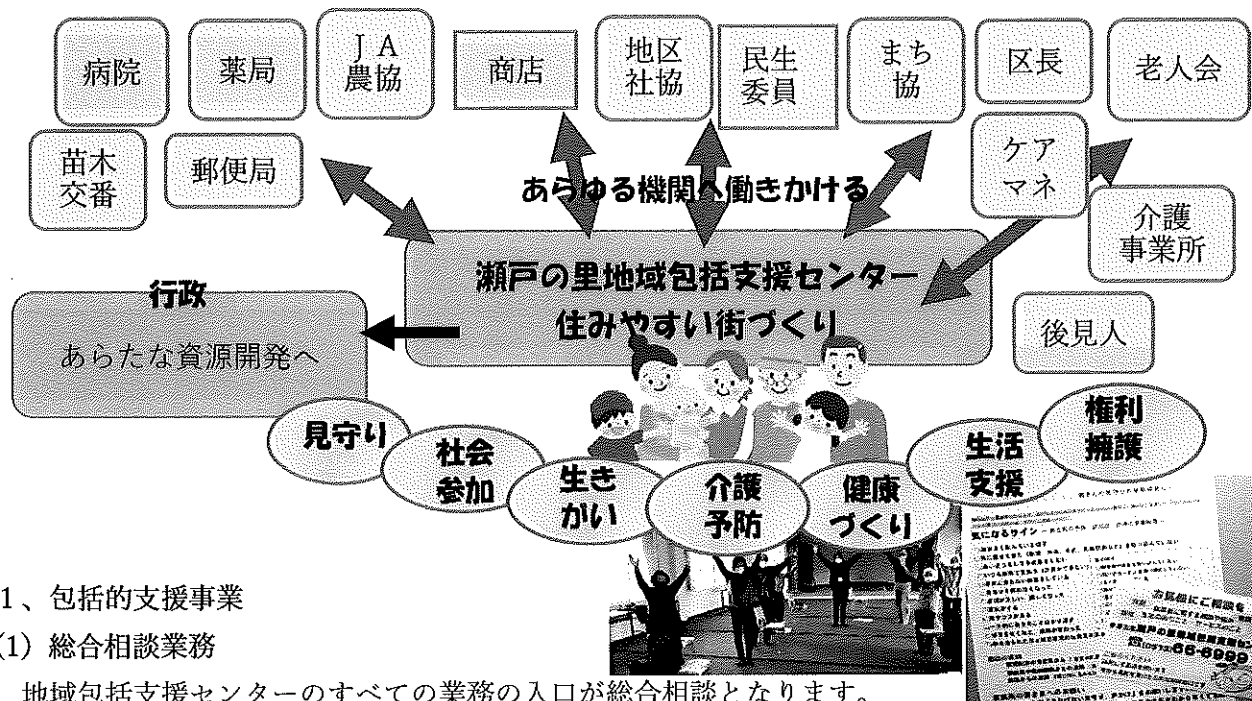
5 介護支援専門員資格の状況

(令和4年3月31日現在)

垣内 朋子	介護支援専門員証有効期間満了日〔令和 9年 2月 3日〕 主任介護支援専門員更新研修修了 〔修了年月日：平成 29年 2月 4日〕 〔研修機関名：社会福祉法人 岐阜県福祉事業団〕
向井 優子	介護支援専門員証有効期間満了日〔令和 7年 3月 25日〕 主任介護支援専門員更新研修修了 〔修了年月日：令和 元年 10月 9日〕 〔研修機関名：社会福祉法人 岐阜県福祉事業団〕
前田 貴子	介護支援専門員証有効期間満了日〔平成 35年 6月 14日〕

## 令和3年度 中津川市瀬戸の里地域包括支援センター 事業報告

地域包括支援センターは、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を目指し、必要な支援を切れ目なく包括的に行う機関です。そして、地域ケアシステム構築を担う中核機関として、地域のあらゆる機関をつなぎ、常に地域のニーズと資源開発を視野にいたした活動を目指しています。



### 1、包括的支援事業

#### (1) 総合相談業務

地域包括支援センターのすべての業務の入口が総合相談となります。

高齢者の心身の状況と生活に必要な支援等を把握するための状態把握訪問、相談を受け適切なサービスと専門機関・制度の利用につなげる等の支援、地域のネットワークの構築を行いました。

※コロナ感染状況による市からの活動自粛指示期間として、

R3年8月27日～9月30日の間と、R4年1月19日～3月6日までの間は緊急相談のみ対応。

また、年間通してR3年度の状態把握訪問は、相談依頼と要見守り者を対象としました。

相談内容別 (延べ)	R1 年度	R2 年度	R3 年度
状態把握訪問	452	307	277
介護・福祉サービス相談	181	164	224
医療健康の相談	86	74	55
介護に関する相談	77	91	83
認知症の相談	31	42	69
申請代行	23	21	28
介護保険の相談	105	80	55
身障・精神	11	24	32
虐待に関する相談	11	19	6
成年後見	3	7	16
その他	41	168	22
介護予防	48	54	87
ケアマネ支援	29	44	72
合計	1123 件	1095 件	1026 件

電話 208 件 来所 24 件 訪問 235 件

積極的な訪問を控えましたが、相談経路として地域関係者や病院からの相談依頼が増えました。相談内容の特徴としては、◆認知症状など精神的不安定で長期で複数回にわたるケース◆独居で成年後見制度利用が必要と思われるケース◆外出減少から関わり支援のケース◆介護保険をはじめ

福祉サービス代行申請ケース ◆同居でも 8050 問題といわれるような高齢者と精神障害・経済面が絡み合う複合ケースなど、「確実に支援介入が必要なケース」が増えました。

(2) 権利擁護事業

現状の支援では問題が解決できない、適切なサービスにつながらない等、困難な状況にある高齢者が尊厳のある生活が維持できるように、専門的・継続的な視点から必要な支援を行いました。

① 成年後見制度の活用促進 (相談 13 件延べ 20 回)

成年後見制度の利用が必要と思われる高齢者の親族や担当ケアマネジャー等に対して成年後見制度の説明紹介、権利擁護センターのスタッフと連携し同行訪問、対応を行いました。

② 高齢者虐待への対応 (相談 3 件延べ 4 回)

「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、虐待の相談を受けた場合は市と協議し、速やかに当該高齢者の状況を確認、適切な対応を支援しました。



③ 消費者被害の防止 (相談 1 件延べ 1 回)

消費者被害の現状や消費者センター等の呼びかけ周知を行い、地域と関係機関等に啓発活動を行いました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 (ケアマネ相談 43 件延べ 72 回)

ケアマネジャーと地域の関係機関と互いに連携し、個々の高齢者の状況に応じて包括的かつ継続的に支援するために、「生活支援コーディネーターとの交流会」や「地域ケア会議」を開催し、今後の地域課題への取り組みについて連携を図る機会となりました。

(4) 認知症に関する施策 (相談 36 件延べ 67 回)

認知症の早期発見や症状の悪化防止への支援、家族や地域への支援を行いました。「認知症サポーター養成講座」「介護者の会」の周知活動、「地域ケア会議」を通して、認知症当事者の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしい暮らしの継続を支える体制作りを行いました。

(5) 地域ケア会議の開催

個別課題の解決、ネットワークの構築、地域課題の発見、多職種で個別ケースの検討を通じ、地域作り、社会資源開発、政策形成を目指しています。

① 地域ケア個別会議

高齢者個人に対する支援と、社会基盤の整備を目的に、多職種協働のもとフォーマル・インフォーマルな社会資源を積極的に活用し、地域包括支援ネットワークを深めました。



ケース内容		専門職参加
12 月	精神疾患を抱え、治療が必要でも内科病院では医療連携ができないケース	9 名
3 月	独居男性、60 代で認知症を発症した方を支える地域での取り組みのために	10 名

② 地域ケア会議

困難ケース支援を通じて、介護等が必要な高齢者の住み慣れた住まいでの生活を、地域全体で支援できるよう検討しました。

ケース内容		結果
5 月	不定愁訴から昼夜問わず、近所や道端で助けを求める独居高齢男性	入院し終了
3 月	ゴミ屋敷と多頭飼育、サービス介入望まない身寄りのない高齢独居女性	訪問継続中

③ 相談協力員懇話会

地域包括支援センター業務を理解いただき、地域住民との橋渡しを担う各分野の協力員の皆さんと、各立場から感じる苗木地区の現状及び地域ニーズを共有しました。

2、介護予防事業 (介護予防相談 58件延べ71回) (閉じこもり相談 11件延べ16回)

介護予防の理解を深め健康作りの支援と、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目指して、地域の公民館や公共施設等で集まる場所づくりの企画開催をしました。

- ① 介護予防教室 地域のニーズに合わせて計画するも、今年度も各地区の区長さんたちは自粛中止と慎重でした。年度の途中でしたが、地域ボランティアの協力を得て、閉じこもり傾向の方を対象に、苗木交流センターで新たに「いきいき健康づくりの会」を企画、スタートしました。

教室名(人数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
下並松区介護予防教室			中止						中止			
八幡区介護予防教室	中止									中止		
井汲区介護予防教室			中止						中止			
日比野区介護予防教室		中止				中止						
室屋区介護予防教室			中止				中止					
新谷区介護予防教室				10						9		
三郷区介護予防教室			中止							中止		
背戸川区介護予防教室				9			14					
苗木独居の会	6	6	5	6	6	中止	中止	6	6	7	中止	中止
のびのび楽ちん体操教室	中止	12	9	12	中止	中止	15	12	14	中止	中止	15
いきいき健康づくりの会	ニーズ対象者を集め、協力者を探し内容を準備									8	中止	15
参加人数合計 148名	6	18	14	37	6	0	35	18	40	15	0	35

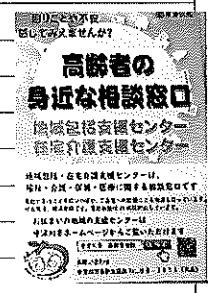
- ② 出前講座 その都度、地域からの要望に対して、講座を企画し開催、「コロナ禍だからこそ包括支援センターのできる役割」として、可能な限り地域へ呼びかけを行いました。

日程	場所	対象者	人数	内容
4/20	山の田会館	もやいの会	19	フレイル予防～食事編～、回想法・体操
4/20	新谷会館	新谷区老人会	13	健康寿命について・体操と口腔ケア
7/20	苗木交流センター	苗木熟年大学	11	介護保険制度について・脳トレ
10/12	山の田会館	もやいの会	10	穴埋めクイズ、コグニサイズ
11/15	上地会館	サロン	9	地域包括支援センターの紹介、体操、歓談
11/19	苗木交流センター	苗木地区民生委員	19	地域での発見と見守りネットワークについて
11/27	山の田会館	新旧の班長と役員	23	高齢者の相談窓口・どこシル伝言板の説明
11/30	JAひがしみの苗木店	JA 婦人部	22	歓談と地域活動について・担い手のお誘い
12/3	苗木交流センター	苗木地区社協の評議員	55	「高齢になっても安心して暮らすために」
合計		9か所	162人	

会議研修

名称
6月 包括職員 基礎研修
7月 高齢者虐待防止研修会
8月 スーパービジョン研修会
9月 後見制度研修会
SOSみまもりのわネットワーク研修
11月 大人の発達障害研修
東海北陸ブロック地域包括協議会
高齢者虐待防止研修会
12月 包括職員 課題別講座
高齢障がい者連携推進研修
1月 介護予防従事者研修
包括職員 課題別研修会
岐阜県地域ケア会議推進研修
2月 メンタルケア研修
介護予防従事者研修
支援センター事例検討会

名称	
毎月開催	支援センター部会
	地域包括連絡会
	苗木地区連携会議
	支援センターPR委員会
	ポスター作製
隔月	ケアマネ部会
	主任ケアマネ部会
適宜	地域ケア会議
	苗木地区民児協定例会
	相談協力員懇話会
	地域包括運営協議会(書面開催)



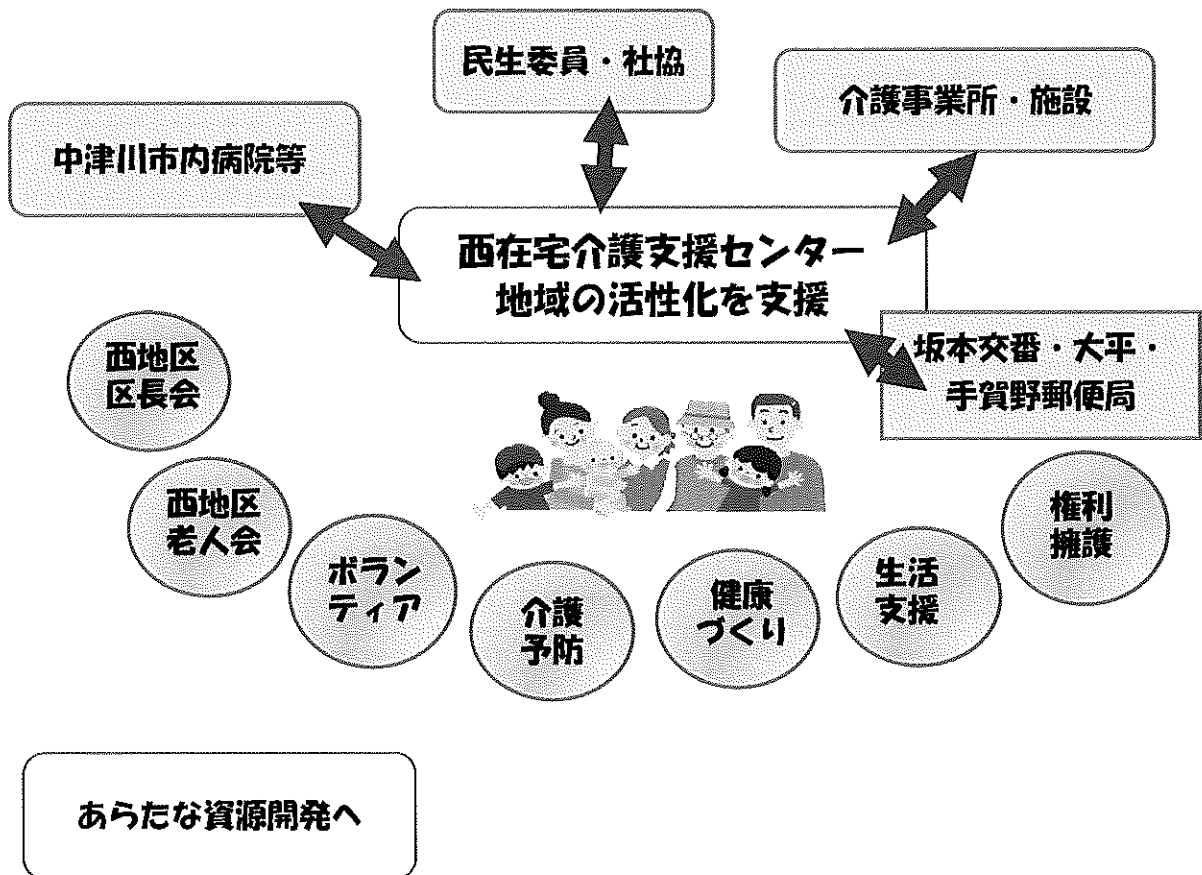
## 令和3年度 西在宅介護支援センター 事業報告

西在宅介護支援センターは市内において地域に根差した信頼のおける法人が市から委託を受け、その委託料にて運営している。苗木地区と西地区の2カ所の委託を受けていること自体が当法人のPRになっている。コロナ禍も3年目になると、事業が中止されている状態のままではない。それぞれが今できることを実施している状況が伺えた。

- ①リモートによる会議や研修
- ②小規模な事業運営・新たな事業の準備
- ③これまでの枠組みを超えた多職種との関係作り
- ④ネットを活用した新たなPR活動
- ⑤コロナ禍でも計画数を落とさない工夫

### 在宅介護支援センターの業務

当センターが他事業所と大きく異なる点は、介護保険適用外の人を対象にしていること。非該当・要支援・要介護を問わず、担当地域に住む高齢者すべてが支援対象になっている。〈業務については下記の項目に分類〉



## 総合相談支援

- ① : 対象者本人・家族・近隣住民・区長・民生委員・老人会・公共機関・ケアマネジャー・病院・介護保険事業所からの相談に対応する
- ② : 認知症や虐待等、対象者の問題解決を目的とした当センターからの関わり
- ③ : ①と②を円滑に進めるための情報収集と関係作りを目的とした実態把握訪問

相談内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
状態把握	461	322	489
福祉サービス	190	86	52
医療面の相談	44	49	131
介護に関する相談	19	7	39
認知症	45	59	73
申請代行	31	37	27
介護保険	123	126	216
身障・精神	2	7	39
虐待	0	5	1
その他・生活	245	146	383
権利擁護・成年後見			31
合計	1160	844	1481

※市による相談項目の調整あり

※参加者同士の間隔を大きく開けての実施



(コロナウイルス感染症対策マニュアルに従って)

## 2.介護予防事業

### ○楽々健康体操教室

1月以外の毎月第一月曜日開催

開催数 11回 年間参加者数 146人

内容：ストレッチ体操・太極拳・ヨガ

計画数を落とすことなく実施

### ○独居の会

毎月第三火曜日開催

開催数 12回 年間参加者数 45人

内容：参加者が予定した計画通りに実施

### ○新たな介護予防事業

コロナ禍で実施できる介護予防事業を計画・実施

今後に向けて集まらなくてもできる事業を計画

## 3.権利擁護事業

成年後見制度や消費者被害のチラシやカレンダーの配布

高齢者虐待に関する研修への参加

## 4.認知症施策

○認知症家族介護者の会 開催数 3回 参加者数 13人

○認知症サポーター養成講座

開催数 : 2回

対象 : 西小学校4年生 93人+教師4人

西地区民生員未受講者 6人



※体育館での開催（コロナウイルス感染症対策マニュアルに従って）

## 5.地域ネットワークの形成

- ・懇話会開催
- ・生活支援体制整備第2層協議体

※令和3年4月23日～6月20日・8月20日～8月26日・8月27日～9月31日

令和4年1月21日～3月21日 コロナウイルスまん延防止重点措置期間



令和3年度 瀬戸の里ワンコインサロン 事業報告  
令和3年度 西あんきなくらぶ 事業報告

事業名	中津川市 集中型一般介護予防事業
主旨	虚弱・閉じこもりなどの高齢者が要介護状態になることを予防し 生きがいや自己実現のための取り組みを支援していく

	苗木地区			西地区			備考
事業名	瀬戸の里ワンコインサロン			西あんきなくらぶ			
事業日	火曜日 木曜日			水曜日 金曜日			週1日
実施場所	瀬戸の里介護実習センター			西在宅介護支援センター			月4回
	中津川市瀬戸1387-8			中津川市津島1-25			
	3年度	2年度	前年比	3年度	2年度	前年比	3年度計
年間稼働日	94 (8)	54	40	93 (8)	54	39	187
参加実人員	16	14	2	13	15	-2	29
新規参加実人員	4	1	3	4	3	1	8
参加延べ人員	552	287	265	455	288	167	1,007
参加中止	4	4	0	4	8	-4	8
(うち介護認定)	3	3	0	4	4	0	7

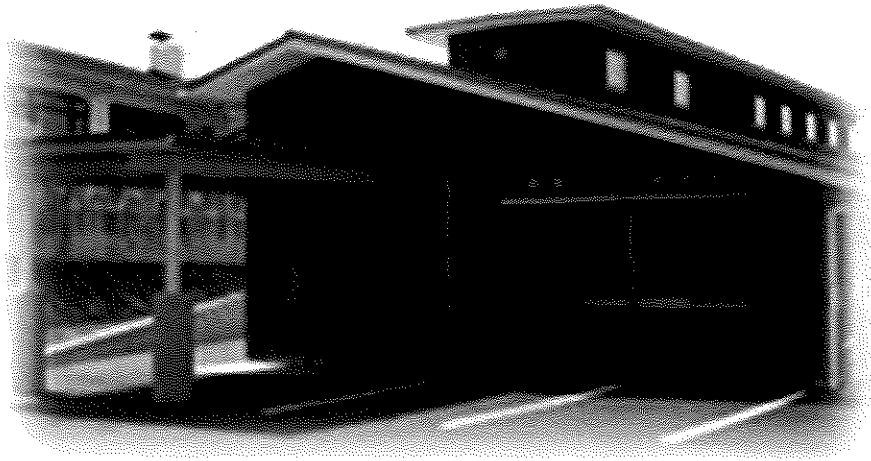
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、8月4週目のみ訪問対応し教室として計上、9月のみ在宅事業開催。

※9月稼働日は1教室4回コンタクトをとった計算で( ) カッコ書き ※土日祝日及び4月第1週目は開催しない

4月	カレンダー作成、名札作り、レク(都道府県クイズ)、健康体操
5月	カレンダー作成、折り紙、レク(新聞ボールゲーム)、健康体操
6月	カレンダー作成、マスクケース作り、レク(神経衰弱・輪投げゲーム)、健康体操
7月	カレンダー作成、短冊飾り作り、(コップ釣りゲーム・脳トレプリント)健康体操
8月	カレンダー作成、夏祭りレク、ゴム鉄砲作り、健康体操、第4週のみ全員訪問
9月	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により事業開催中止(電話と訪問による見守り、プリント配布)
10月	カレンダー作成、レク(新聞紙レク二種、しりとりゲーム、ピンポン玉ゲーム)、回想法、健康体操
11月	カレンダー作成、レク(ホッケーゲーム、昭和クイズ、ボーリングゲーム)、健康体操
12月	カレンダー作成、PT派遣事業(フレイルについて)レク(健康クイズ、新聞紙レク)、健康体操
1月	カレンダー作成、掛け飾り作り、正月レク(福笑い)、レク(神経衰弱ゲーム)、健康体操
2月	カレンダー作成、掛け飾り作り、レク(脳トレプリント、ことば並べ替えクイズ)、健康体操
3月	カレンダー作成、レク(塗り絵、ビンゴ、五十音カード並べ、新聞紙と紙コップゲーム)、健康体操

※今年度も2時間開催となったため、自宅で出来る介護予防の取り組みとして脳トレプリントを配布。

令和 3 年 度  
事 業 報 告



養護老人ホーム中津川市清和寮  
中津川市デイサービスセンターゆうわ苑  
社会福祉法人五常会ケアプランセンター中津川

## 令和3年度 養護老人ホーム中津川市清和寮 事業報告

この一年間、入所者の安全・安心のために新型コロナウイルス感染予防に対する対応に追われる日々でした。入所者の皆さんに楽しんでいただこうと行事を工夫しドライブ外出も多く取り入れ実践しました。中津川市内のコロナ感染者が出ればガラス越しの面会、外出中止等制限を設けざるをえず、職員のみならず入所者の方々も不安な一年でした。

今年度ショート利用者は5名あり、その中の2名が入所に至りました。今年度の稼働率目標 66.6%以上を目指していましたが、結果は、入院中の方は除き、ショートを含め 60.73%でした。

今年度補助金申請が通り、非常用発電機設置へと市と協議していましたが、新型コロナウイルスの影響で機械が間に合わず、令和4年7月頃の予定となりました。

新型コロナウイルスの影響で研修会にはリモートを活用し参加しました。

次年度も職員一丸となり、多様化するニーズに適したサービスを行うと共に、家庭的な雰囲気の中で入所者に喜んでいただける行事の立案・実施、引き続きコロナ感染予防の徹底とコロナ渦後の感染対策、災害への対応強化、総合BCPの完成を図っていきます。

入居状況 (実人数)

区分		男	女	合計
入居者数		14	14	28
年間	入所	1	2	3
	退所	2	2	4

	男	女
最高年齢	90	97
最小年齢	71	68
平均年齢	79.4	85.3
	82.4	

入退所状況 (人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
内訳	在宅		1							2				3
	病院													
退所者		0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
内訳	死亡		1		1									2
	入院													
	家庭復帰													
	その他			2										2

利用状況 (3月末人数)

年度	介護度なし	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	22	4	0	2	1	0	29
今年度	24	2	0	2	0	0	28

※ 入院・外泊は利用人数に含めない

平均要介護度	1未満	年間利用人数	9,975人	定員	16,425人	稼働率	60.73%
--------	-----	--------	--------	----	---------	-----	--------

認知症日常生活自立度 3月末現在

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
8	15	2	3				

食事形態 3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	粥	ミキサー	その他	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
27	1			24	4				28

事故報告状況

(延べ件数)

転倒・ざり落ち	誤薬	誤食	誤嚥	裂傷	合計	保険適用件数	ヒヤリハット
0	0	0	0	0	0	0	11

※ 「転倒・ざり落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限る

苦情相談件数

(延べ件数)

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
0	0	0	0

身体拘束状況

(延べ件数)

4本柵対応	ミトン使用	介護衣着用	安全ベルト使用
0	0	0	0

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	事務員	その他	合計
常勤(A)	1	0	1	0	7	1	1	0	0	0	11
非常勤(B)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	4
非常勤の常勤換算(C)	0	0.1	0	0	0	0	0	0	0	1	1.1
(A)+(C)	1	1.1	1	0	7	1	1	0	0	1	13.1

※厨房業務⇒日清医療食品に業務委託

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	0 人	正看護師	1 人
介護福祉士	5 人	准看護師	0 人
介護支援専門員	2 人		

短期入所(ショートステイ)事業年間利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自立										1			1
支援1													0
支援2							1	1	1				3
介護1				1	1	1	1	1	1				6
介護2													0
介護3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		11
介護4											1	1	2
介護5													0
合計	1	1	1	2	2	2	3	3	3	2	2	1	23

行事報告

月	行事名	内容	日
4月	桜散策ドライブ	車中にて、近隣の花見ドライブ	1日
	DVD鑑賞	希望された洋画を楽しむ	20日
	フェイスマッサージ	ホットタオル・マッサージ・パック	29日
	お花見会食・セレクト	季節を感じる 2品から選択	12・28日
5月	季節の入浴	浴室、浴槽に菖蒲・よもぎを入れ楽しむ	13日
	DVD鑑賞	希望を取り入れみんなで見ると	13日
	手作り工作	藤の花の壁飾り制作	21日
	室内レクリエーション	ゲーム・クイズを楽しむ	19日
	セレクト	3品から好きなものを選択	27日
6月	工作	アジサイの壁飾りを制作し飾る	15日
	朗読教室	支援員による紙芝居・絵本の朗読	4日
	ドライブ	お茶を持って近隣ドライブ	18・21日
	朴葉寿司・セレクト	郷土料理にて季節を感じていただく	1・25日
7月	手作り工作	牛乳パックで小物入れを制作	3日
	クラブ活動	書道・絵画・コーラス・ゲーム	17日
	室内レクリエーション	ボウリング・射的・輪投げ等で楽しむ	19日
	ピクニックドライブ	恵那峡方面で景色を見ながら幕の内弁当	8・13・15日
	リクエストおやつ セレクト	シフォンケーキ・かき氷・ピザから選択	22・27日
8月	夏祭り	重箱に夏らしいメニューを盛りつけ、入所者・職員でゲームを楽しむ	19日
	ドライブ散歩	馬籠へドライブし景色を楽しむ	20・27・31日
	セレクト・リクエストおやつ	3品から選択	24・26日
9月	レクリエーション	タオルを使って健康体操	17日
	ドライブ散歩	阿木川方面へお菓子持参し景色を楽しむ	9・14・16日
	セレクト	2品から選択	27日
10月	五平餅会食	焼きたての五平餅を食べる	15日
	ドライブ散歩	お茶・お菓子持参し景色を楽しむ	21・25・26日
	秋の紅葉狩り運動会	秋を感じる競技で楽しむ	29日
	リクエストおやつ・セレクト	3品 2品から選択	19・27日
11月	レクリエーション	軽体操・ゲーム・歌の会等で楽しむ	11日
	ピクニックドライブ	外の景色とお弁当を楽しむ	5・9・12日
	リクエストおやつ・セレクト	3品から選択	19・22日
	季節の入浴	ゆずの入浴剤にゆずを浮かべて楽しむ	25日
12月	忘年会	2人羽織・クイズ王・小劇等で楽しむ	9日
	クリスマス工作 門松作り	個々に制作し居室に飾る	1・16日
	DVD鑑賞	希望の映画をレンタルし楽しむ	20日

	餅会食	つきたての餅を楽しむ	28日
1月	習字・絵画教室	書初め・ちぎり絵どちらかに参加	18日
	工作	奴さん・凧作り	24日
	リクエストおやつ	2品から選択	19日
	支援員喫茶	プリンアラモード的なもの手作り	18日
	セレクト	2品から選択	26日
2月	レクリエーション	ストレッチ・体操	17日
	寿司会食	握りたてのお寿司を提供	25日
	セレクト	3品から選択	24日
3月	手作り工作	お雛様作り工作	7日
	DVD鑑賞	希望の映画をレンタルし楽しむ	11日
	セレクト	2品から選択	30日
毎月	誕生会	当月の入所者に祝い金と食事で祝う	
	貴方の夢叶えます。	個人対応で小さな希望を叶える	

#### 職員研修等

日	研修内容	実施機関
4月28日	ワクチン接種に関する看護師研修	中津川市健康医療課
6月23日	失敗しない福祉職員マナー研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
6月30日	知って助かるリスクマネジメント研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
7月8・9日	初任者コース	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
7月16日	医学的知識基礎講座	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
7月19日	保健指導スキルアップ研修	恵那保健所
7月28日	特定給食施設関係者研修	恵那保健所
9月7日	災害時に役立つ介護技術研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
9月29・30日	チームリーダーコース研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
10月8日	すぐ身につく介護職員記録研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
11月17日	失敗を次につなげる問題解決スキルアップ研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会
11月18日	特定給食施設等災害対策研修会	恵那保健所
12月1日	ワンチームでターミナルケア研修	社会福祉法人岐阜県社会福祉協議会

回数	会議・施設内勉強会等	実施機関
年4回	感染症対策委員会	看護師・主任支援員・栄養士・支援員・副施設長
年4回	感染対策勉強会（実践）	出勤職員
毎月	給食会議	日清栄養士・栄養士・ゆうわ宛・副施設長
毎月	処遇会議	支援員・出席出来る多職種職員
年4回	安全管理委員会	支援員・出席出来る多職種職員

## 令和3年度 デイサービスセンターゆうわ苑 事業報告

市内に複数の新規通所介護事業所の開設で、通所介護事業所が飽和状態となり新規利用者獲得が苦戦すると予測される中、令和3年度計画数4,185名、稼働率75%、の目標に向いスタートを切りました。

新規通所介護事業所の多くは、都心部での成功例を取り入れた機能訓練に特化した事業所や、通称「お泊りデイ」なる宿泊可能な事業所であり、旧来型の通所介護事業所が敬遠され苦戦を強いられています。「苑の存続の危機」であるという危機感を持ち利用者の増員を図るため、「ゆうわ苑でもできる事」を職員間で知恵を絞り、口腔機能向上のために食前の口腔体操の実施や、機能低下予防のためにレクリエーション前の機能低下予防体操を取り入れ、希望者には機能訓練指導員を中心に3mの歩行バーを用いた歩行機能の向上訓練や油圧マシンでの機能低下予防の支援の取り組みを継続し好評を得ています。また、平成27年4月の介護保険改正より新たに加算要件となった、中重度加算・認知症加算の取得を継続し、令和3年度より始まった「科学的介護推進体制加算」も取得し収益改善に努めましたが大幅に収益悪化し、令和3年度目標4,185名に対して実績数3,368名、達成率80.5%と目標未達でした。

令和4年度も、通所介護事業所同士の利用者獲得競争や、お泊りデイやショートステイと通所介護事業所とを併用される利用者の増加影響を考えると、安定した稼働率の維持は難しく、なお一層の売上獲得の方策が必要と考えます。また、5年後10年後を視野に入れた人材発掘・人材育成を計画的に行うことが急務であり、2024年の介護報酬の改定に向けて体制を評価する加算から、実施した内容を評価する加算へシフトして来ているように感じます。今後の動向に注視しながら新型の加算方式について乗り遅れない方策が急務です。

ゆうわ苑は、開所より32年目となり設備の老朽化も顕著です。お客様のニーズに合ったサービスの提供や施設の改修・補修が必要であると思われます。今後も職員一同危機感を持ち、コンプライアンスを重視し、利用者・家族・ケアマネジャーより選ばれる施設となるよう、利用者確保に努めてまいります。



令和3年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500131			定 員 (A)		18人		総合事業 A6有
事業所名	デイサービスセンターゆうわ苑			3月利用実人員		38人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～土(年末年始を除く)		
報酬単価  各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月  ※1認知症加算は個別加算の為 対象者のみ加算  ※2要支援1・2の昼食間食は 一回720円×利用回数	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,720	34,280	7,500	8,870	10,280	11,680	13,080
	入浴加算			500	500	500	500	500
	サービス提供体制強化加算 (I)イ	880	1,760	180	180	180	180	180
	中重度ケア体制加算			450	450	450	450	450
	※1 認知症加算 (個別加算の為含めず)			600	600	600	600	600
	介護職員処遇改善加算 (I)	1,038	2,126	509	590	673	756	838
	介護職員特定処遇改善加算 (I)	211	432	104	120	137	154	171
	※2 昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
利用料日額÷合計	18,850	38,599	9,963	11,430	12,940	14,440	15,939	

要支援は一か月単価表記

	令和3年度実績	令和2年度実績	前年比較	苦情	
稼働日数	309日	309日	0	令和3年度	令和2年度
平均年齢	84.3歳	86.1歳	-1.80	0	0
男女別人員	男1600人 女1768人	男1719人 女2231人	—	第三者委員へ報告数	
平均介護度	3.0	2.8	0.2		
要支援Ⅰ	0	0	0		
要支援Ⅱ	132人	102人	30		
要支援合計	132人	102人	30		
要介護Ⅰ	376人	526人	-150		
要介護Ⅱ	1,104人	973人	131		
要介護Ⅲ	551人	692人	-141		
要介護Ⅳ	507人	1,053人	-546		
要介護Ⅴ	698人	604人	94		
要介護合計	3,236人	3,848人	-612		
年間総合計	3,368人	3,950人	-582		
年間総定員	5,562人	5,562人	0		
稼働率	60.55%	71.02%			
計画数	4,185人	4,450人	-265		
達成率	80.48%	88.76%			
				職員等の状況	
				兼務の場合は主職種	
				常勤	非常勤
				管理者	1
				相談員	1
				介護士	4.5
				看護師(機能別棟)	2
				支援	0.5

令和3年度 行事報告

月	行事名	内 容	測 定	実施期間	延参 加
4	春のお茶会	苑内で、抹茶と手作りおやつを飲食し楽しんでいただく		21・22	24名
	花見ドライブ	桜の名所を巡りドライブ 季節を感じていただく		1～7	33名
5	花見ドライブ	薔薇ドライブ 近隣散策しながら薔薇を見物 季節を感じていただく	体 重	22・24・ 26・29	23名
	苑内喫茶	好みの飲み物を選び、飲みながら会話を楽しんでいただく		25～27	23名
6	花見ドライブ	バラ・アジサイを巡るドライブ 季節を感じていただく		1・3・5 21～24	47名
	苑内喫茶	好みの飲み物を選び、飲みながら会話を楽しんでいただく		22～25	43名
7	季節の工作	七夕飾り工作を作成し、季節を感じていただく		5～7	32名
	苑内喫茶	好みの飲み物を選び、飲みながら会話を楽しんでいただく		28～30	34名
8	季節の工作	季節工作を作成し、季節を感じていただく	体 重	2～7	51名
	苑内喫茶	好みの飲み物を選び、飲みながら会話を楽しんでいただく		17～19	30名
9	防災訓練	防災意識の向上と、安心安全な運営体制の確認		2日	12名
	敬老の日	「敬老膳」を用意し敬老を祝いする		20日	12名
	苑内喫茶	好みの飲み物を選び、飲みながら会話を楽しんでいただく		21～24	41名
10	手作五平餅	新米の収穫を祝い五平餅を食べる		15・16	19名
	苑内喫茶	好みの飲み物を選び、飲みながら会話を楽しんでいただく		18～20	31名
11	紅葉ドライブ	モミジやイチョウなど紅葉の名所を巡るドライブ	体 重	3・4・6・ 8	33名
	苑内喫茶	好みの飲み物を選び、飲みながら会話を楽しんでいただく		22～24	32名
12	クリスマス会	クリスマスビンゴゲームを行い、季節感を感じていただく		24	11名
	苑内喫茶	好みの飲み物を選び、飲みながら会話を楽しんでいただく		21～23	26名
1	初詣	近くの神社、仏閣に参拝		5～7	27名
	初釜喫茶	初釜にて新年を祝い、選んだ飲み物を飲み、会話を楽しんでいただく		5～8	26名
2	節分	季節行事・豆まきを行い、無病息災祈願	体 重	3	10名
	苑内喫茶	好みの飲み物を選び、飲みながら会話を楽しんでいただく		16～18	26名
3	桃の節句	ひな人形飾り		1月1日	12名
	苑内喫茶	好みの飲み物を選び、飲みながら会話を楽しんでいただく		21～23	28名
年間通して		音楽療法(毎月1回)・ソロバン教室(毎月1回)・サックス三味線演奏(不定期) 口腔体操(毎日)・機能低下予防体操(毎日)			

※尚、各行事に不参加の方にはその都度、各利用者に適した個別レクリエーションを提供（月初めに計画）  
 ※生活に則した機能訓練や油圧マシン・歩行バーでの歩行訓練は、日課の中で希望者へ提供

# 令和3年度 五常会ケアプランセンター中津川 実績報告

R4/3/31 現在

## 1 介護支援専門員の状況

介護支援 専門員数	1 人	内 訳	常 勤	専従	1 人	非常勤	専従	0 人
				兼務	1 人		兼務	0 人

## 2 給付管理の状況

提供月	給付管理件数 (A)	支援専門員数 (B)	平均件数 (A)÷(B)
1月			
2月	5	1.0	5
3月	15	1.0	15
合計	20	2.0	20.0

(小数点以下切り捨てて記載)

担当者別 件数	担当	栗田				合計
年間件数						0件
新規件数		11件				11件

終了件数(人)	入所等	0件	死亡	1件	変更	0件	合 計	1件
---------	-----	----	----	----	----	----	-----	----

(変更=居宅支援事業所変更 : 予防給付への移行 及び 高齢者専用住宅等入居に伴う居宅支援事業所の変更含む)

### 〈介護度別利用者数の割合〉

要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	要介護 3~5の割合
75 %	15 %	10 %	%	%	10 %

(小数点以下四捨五入して記載)

## 3 居宅介護支援費の請求状況

居宅介護支援費 (I) を算定 (取り扱い件数 40 未満)	要介護 1・2	10,760単位/月
	要介護 3・4・5	13,980単位/月

(下段は令和1年10月報酬改定後単価)

1月	2月	3月	合計
	4	11	15
	1	2	3
	53,800	139,880	193,680
		2	2
		27,960	27,960
		0	0
			221,640

#### 4 加算・減算の適用について

##### (加算の状況)

加算項目 (1単位 100円)	単位	円	件数	加算額
特定事業所加算Ⅲ	300	3,000	0	0
初回加算 (初回または2段階変更)	300	3,000	11	33,000
入院時情報連携加算Ⅰ	200	2,000	0	0
入院時情報連携加算Ⅱ	100	1,000	0	0
退院・退所加算	450	4,500	0	0
緊急時居宅カンファレンス加算	200	2,000	0	0
小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	300	3,000	0	0
ターミナルケア加算	400	4,000	0	0
加算額合計				33,000

##### (減算の状況)

運営基準減算の適用	減算の適用 なし
-----------	----------

##### 運営基準減算が適用される場合

居宅介護支援の業務が適切に行われない場合、所定単位数×0.5を算定

運営基準減算が2ヶ月以上継続している場合は所定単位数を算定しない

特定事業所集中減算の適用	減算の適用 なし
--------------	----------

##### 特定事業所集中減算が適用される場合

対象期間中に〔訪問介護・通所介護・福祉用具貸与〕において、正当な理由なく特定の法人へのサービス計画が80%を超えた場合、減算適用期間の居宅介護支援費の全てについて200単位/月を減算

前期判定期間〔3月1日～8末日〕 ⇒ 減算適用期間〔10月1日～3月31日〕

後期判定期間〔9月1日～2月末日〕 ⇒ 減算適用期間〔4月1日～9月30日〕

\*注 平成27年の介護報酬改定に伴い、居宅介護支援の公平・中立性を更に推進するため、平成27年9月以降の特定事業所集中減算の要件が変更となった。

●訪問介護において、紹介率が最も高い法人

期間	訪問介護が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)	(事業所)		
前期			
(法人名) 株式会社 ツクイ	(事業所) 株式会社 ツクイ中津川		
後期	8	4	50.0%

●通所介護において、紹介率が最も高い地域密着型通所介護の件数を含む

期間	通所介護が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)	(事業所)		
前期			
(法人名) 社会福祉法人 五常会	(事業所) ゆうわ苑DSC		
後期	10	5	50.0%

●福祉用具貸与において、紹介率が最も高い法人

期間	福祉用具貸与が位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人に位置づけられた居宅サービス計画数	紹介率最高法人の割合
(法人名)	(事業所)		
前期			
(法人名) 株式会社 ユーワン	(事業所) 株式会社ユーワン		
後期	13	7	53.8%

5 介護支援専門員資格の状況

(令和4年3月31日現在)

栗田信二	介護支援専門員証有効期間満了日〔令和 9年 11月 29日〕 主任介護支援専門員更新研修修了 〔 修了年月日 : 令和 3年 7月 2日 〕 〔 研修機関名 : 愛知県シルバーサービス振興会 〕
------	--

令和 3 年 度  
事業 報 告 書



福岡デイサービスセンター  
福岡ショートステイ事業所

## 令和 3 年度 福岡拠点 事業報告

## 通所介護事業

## 《通所介護・第一号通所サービス》

令和 3 年度は目標計画数 5,100 件に対して実績 5,222 件で達成率 102%と目標値の達成という結果でした。稼働率も 80%と目標値達成に至りました。今年度の特徴として、上期は高い稼働率を維持できましたが下期になると入所や他事業所のショート等の利用増加や新規利用者の減少に伴い、70%代の稼働率と低迷しました。事業収入では軽度の利用者の増加や施設の老朽化による修繕など費用が重なり、昨年度より減少となっています。

稼働率向上の為、昨年作成した年間行事や日中の取り組みの様子などを掲載したパンフレットを活用し、各居宅介護支援事業所に当事業所のアピールツールとして配布し、数件の新規獲得に結びつきました。また SNS の活用としてホームページの更新等を随時行い、情報発信を行いました。

コロナ禍で他事業所の事業停止により、利用困難となった利用者の受け入れを積極的に行い、ケアマネジャーや関係機関等の連携に努めました。

利用者の ADL の維持・向上の取り組みとして、午前中は脳トレや足漕ぎ運動・血流促進マッサージを取り入れ、午後からは口腔体操やリハビリ体操・リズム体操等楽しみながら取り組めるプログラムの提供を行いました。同時に、入浴や食事提供時・体操やレク等様々な場面での利用者の心身・身体の状態の把握に努め、常に介護者やケアマネジャー・関係機関などと連携・協働しながら、利用者の在宅生活が続けられるようアプローチしました。社会性の維持・向上を目的として、コロナ禍でできる季節行事や外出行事を企画し、感染予防を図りながら、利用者を楽しんでいただけるレクリエーションの提供を行いました。

地域貢献事業では新型コロナウイルス感染予防のため、各行事が中止となりましたが、地元ボランティアの方の清掃などできる範囲で協力して頂きました。今後も感染予防を図りながら、地域貢献に向けた様々なニーズを積極的に取り入れ、地域に根付いた事業所を目指します。

職員の介護の質の向上として感染対策や認知症等に関する WEB 研修や介護技術の伝達研修等、積極的に取り組みました。業務改善としてケアパレットを追加導入し、記録業務の効率化を図り、利用者との交流の場を増やすことができました。今後も更なる改善策を見出し、よりよい支援を目指した事業展開を行います。

ショートステイ事業

《基準該当（介護予防）短期入所生活介護》

今年度は計画数 663 件に対して実績数 609 件で達成率が 91%・稼働率 78%と昨年度の稼働率より-6%の減少となりました。稼働率減少の要因として、定期利用の方の入所や利用中止等が重なりました。新規利用者獲得のため、パンフレットや SNS を活用し、営業強化を図っています。

短期間利用や「慣れた施設や身近に感じる施設からショートステイを利用させたい」とのニーズもあり、新規及び定期利用につながっています。利用者同士のお誘いにてご利用に至ったケースもありました。

デイサービス併設の特徴を生かして、色々な方との交流ができ、「また利用したい」という声を目指して取り組んできました。その結果、ショートステイ利用による介護者の介護負担の軽減に結びついたと思います。

感染予防を図りながら、家庭的な雰囲気をもっとに個々の生活習慣の尊重・健康管理の重視に努め、ケアマネジャーや介護者との連携も密に行いました。また生活リハビリとして、洗濯たたみや掃除等の家事を取り入れ、在宅生活を維持・支援できる事業所を目指しました。今後も利用者・介護者のニーズに添え、地域に根差した事業所を展開していきたいと思っています。



令和3年度 稼働状況等報告

指定番号	2172000669			定 員 (A)		25人		総合事業 A6有
事業所名	福岡デイサービスセンター			3月利用実人員		53人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～金(年末年始を除く)		
報酬単価 各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月 要支援1・2の昼食間食は 一回720円×利用回数	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,720	34,280	6,550	7,730	8,960	10,180	11,420
	入浴介助加算 I			400	400	400	400	400
	サービス提供体制強化加算 II	720	1,440	180	180	180	180	180
	中重度ケア体制加算			0	0	0	0	0
	介護職員処遇改善加算 (I)	1,029	2,107	421	490	563	635	708
	介護職員特定処遇改善加算 (I)	209	429	86	100	114	129	144
	※2 昼食・間食	720×利用回数	720×利用回数	720	720	720	720	720
	利用料日額合計	18,678	38,256	8,356	9,620	10,937	12,244	13,572

要支援は一か月単価表記

	令和3年度実績	令和2年度実績	前年比較	苦情		
稼働日数	258日	257日	1	令和3年度	令和2年度	
平均年齢	88.48歳	88.73歳	-0.25	0	0	
男女別人員	男1,478人 女3,744人	男1,273人 女3,829人	男205人 女-85人	第三者委員へ報告数		
平均介護度	2.4	2.5	-0.1	事故		
要支援 I	75人	28人	47	令和3年度	令和2年度	
要支援 II	14人	84人	-70	1	0	
要支援合計	89人	112人	-23	保険適用件数		
要介護 I	1,602人	1,246人	356	職員等の状況		
要介護 II	1,810人	2,016人	-206	兼務の場合は主職種		
要介護 III	556人	624人	-68		常勤	非常勤
要介護 IV	718人	906人	-188	管理者	1	
要介護 V	447人	198人	249	相談員	2	
要介護合計	5,133人	4,990人	143	介護士	2	3
年間総合計	5,222人	5,102人	120	看護師(機能訓練)	1	1
年間総定員	6,450人	6,425人	25	栄養士	1	
稼働率	80.96%	79.41%	4.74%			
計画数	5,100人	5,000人	100			
達成率	102.39%	102.04%	0.35%			

令和3年度 稼働状況等報告

指定番号	2181500063			定員(A)		3人		予防有
事業所名	福岡ショートステイ事業所			3月利用実人員		17人		
運営時間	月曜日8時30分～金曜日17時30分			稼働日		月～金(年末年始を除く)		
報酬単価 各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	一日あたりの基本料金	4,740	5,890	6,380	7,070	7,780	8,470	9,160
	送迎加算(往復)	3,680	3,680	3,680	3,680	3,680	3,680	3,680
	サービス提供体制強化加算(Ⅲ)	60	60	60	60	60	60	60
	介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	704	799	840	897	956	1,013	1,071
	介護職員特定処遇改善加算(Ⅱ)	195	221	233	249	265	281	297
	滞在費	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171	1,171
	朝食・昼食・間食・夕食	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380	1,380
	利用料日額合計	11,930	13,202	13,744	14,507	15,292	16,055	16,818

	令和3年度実績	令和2年度実績	前年比較	苦情	
稼働日数	258日	258日	0	令和3年度	令和2年度
平均年齢	88.8歳	88.21歳	0.59歳	0	0
男女別人員	男190人 女419人	男125人 女534人	男65人 女-115人	第三者委員へ報告数	
平均介護度	2.7	2.9	-0.2		
要支援Ⅰ	0	0	0		
要支援Ⅱ	0	0	0		
要支援合計	0	0	0	事故	
要介護Ⅰ	68人	81人	-13	令和3年度	令和2年度
要介護Ⅱ	252人	184人	68	1	0
要介護Ⅲ	152人	193人	-41	保険適用件数	
要介護Ⅳ	60人	129人	-69	職員等の状況	
要介護Ⅴ	77人	72人	5	全員デイ兼務	
要介護合計	609人	659人	-50		常勤
年間総合計	609人	659人	-50	管理者	1
年間総定員	774人	774人	0	相談員	2
稼働率	78.68%	85.14%	-6%	介護士	2
計画数	663人	604人	59	看護師(機能訓練)	1
達成率	91.86%	109.11%	-17.25%	栄養士	1

令和3年度 行事報告

福岡デイサービスセンター

月	行事名	内容	実施期間	参加人数
4	花見ドライブ	桜の名所を巡りドライブ 季節を堪能していただく	5～9	89名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気を楽しむながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	26～30	102名
5	避難訓練	利用者を交えて、災害時での避難訓練を行う 〈職員への知識向上・マニュアルの見直し〉	31	29名
	カラオケ大会	新型コロナウイルス直近の感染拡大の為に中止	24～28	99名
6	郷土食（朴葉寿司）	地元の郷土料理を堪能〈全利用者対象〉	7～11	117名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気を楽しむながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	24～30	114名
7	七夕会食・短冊作り	七夕をイメージした会食の提供と短冊作りや飾り付けを行っていただき、季節感を味わっていただく	1～7	122名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気を楽しむながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	26～30	105名
8	夏祭り	屋台にて出し物（金魚すくい・輪投げ・ヨーヨー釣り・射的）を行っていただき、雰囲気を楽しむ楽しんでいただく	16～20	117名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気を楽しむながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	25～31	101名
9	敬老週間・敬老会食	敬老の日になんで喜寿・米寿・白寿の方にお祝いを行う また、日頃の感謝を込めて会食を提供し、レク時に職員による 演芸を披露	15～21	白寿2名 米寿5名 喜寿1名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気を楽しむながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	24～30	96名
10	消火器訓練・救命講習	北消防職員を講師として招いて、救命や消火の基礎知識と技能の習得（職員のみ参加）	1	職員10名
	運動会	施設内にて2チームに分かれ、当時の競技を取り入れながら回想して楽しんでいただく	11～15	97名
	避難訓練	利用者を交えて、災害時での避難訓練を行う 〈職員への知識向上・マニュアルの見直し〉	24	20名
11	カラオケ大会	ソーシャルディスタンスを図りながら、気分転換を行う	17～23	109名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気を楽しむながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	24～30	96名
12	鍋会食・花餅作り	年内最後の行事として鍋料理を堪能していただき、餅つきは利用者に参加していただき、年越しの雰囲気を楽しむいただく 〈全利用者対象〉	25～29	92名
1	初詣ドライブ	新年を迎えて、近隣の神社仏閣への参拝 感染予防の為、ドライブ形式にて	4～10	43名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気を楽しむながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	25～31	86名
2	節分	季節行事・鬼に扮したスタッフに豆まきを行い無病息災祈願 〈全利用者対象〉	1/31～2/4	92名
	寿司・天ぷら会食	バイキング会食は中止 天ぷらと目の前で握りたてのお寿司の味を堪能していただく	16～22	95名
3	手作りおやつ	感染予防を図りながら、おやつ作り（大根もち）を行っていただき生活リハビリとして取り組んでいただく	9～15	109名
	喫茶ことぶき	喫茶店の雰囲気を楽しむながら、季節感漂うデザートや飲物の提供	25～31	103名
年間を通して		お誕生日会（毎月）・口腔体操（毎日）・機能低下予防体操（毎日） 温泉入浴（毎月）・脳トレ（毎日）他		

令和3年度  
事業報告書



社会福祉法人 五常会  
特別養護老人ホーム  
みずなみ 瀬戸の里

## 令和3年度 みずなみ瀬戸の里事業報告

令和3年度は、昨年に続きコロナ禍で入居者の安全、安心を守りつついかに認知機能、身体機能を維持するかという課題を抱えながらケアに取り組みました。

今年度は職員のコロナ陽性者が5月、9月、2月に計3回出て対応に追われる状況でしたが、感染委員会を中心としてマニュアルを整備し、研修等を実施していたため、いずれもクラスターになることなく感染者1名だけで終息することができました。その点は職員の感染対応ができていたからだと思っております。次年度においても、感染予防をしながら安心、安全な生活を提供出来るよう努めていきます。

稼働率については目標を97%とし進めてきましたが、95.12%という結果でした。要因としては、コロナ感染者が出て、その対応に追われる等により新規入居の対応が迅速にできなかったことです。

ただ、ショートの利用においては、入院者が出た際に市内の居宅介護支援事業所へ情報を流す等利用を進めてきた結果、利用していただくことができ、入院時に声をかけることができる利用者を確認することができました。今後は市内だけではなく近隣市にも利用者を広げていきたいと考えております。

科学的介護システム「LIFE」と新たな加算取得に向けて取り組んできましたので次年度より算定していきます。

人材においては、職員の意識改革を行うことで離職者の減少をさせることができました。また、外国人の人材も増え今後は人材を活用した事業の取り組みを進めていきたいと考えております。

高校生の実習生も4名を受けました。就職希望者もいましたが奨学金制度の関係で就職に結びつけることができませんでした。ただ、以前瑞浪高校の企業見学会に参加された学生が就職を希望してくれて入職してもらうことができました。

今年度はコロナ禍で研修がZOOMでの開催が多かったこともあり、認知症をはじめとする研修をして多くの職員に受講させることができ、介護の質の向上につなげることができたと思っております。

機械浴の整備を行い、入居者がゆったりとお風呂に入ることができるようになりました。また、介護ロボット導入で眠りスキャンやDFree等を活用し、職員の負担の軽減や入居者のケアの見直しなどに役立てています。

看取りに関しては、コロナ禍の状況をご理解いただきながら、ご家族の想いにこたえ、できる限り面会していただき、手を握っていただくなどの対応をしてきました。

身体拘束において、検討を重ねながら身体拘束者ゼロを目指してはいますが未だ達成できていない状況です。今後も引き続き身体拘束者ゼロを目指すことはもちろん、事故防止の対応、虐待防止においても研修実施や啓発など施設全体で取り組んでいきます。

次年度も施設理念に沿い、ユニットケアを進めながら選ばれる施設になるよう職員が一丸となって努めてまいります。

特別養護老人ホームみずなみ瀬戸の里

入居状況

(実人数)

(人)

区分		男	女	合計
入居者数		9	71	80
年間	入所	9	20	29
	退所	5	22	27

	男	女
最高年齢	95	103
最小年齢	87	73
平均年齢	87.6	91.4
	90.9	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者		2	0	3	2	3	3	2	5	2	2	1	4	29
内訳	在宅			1	2	1			1				1	6
	病院					1	1	1	3	1			2	9
	老健他	2		2		1	2	1	1	1	2	1	1	14
退所者		2	2	1	1	7	3	1	3	2	1	3	1	27
内訳	死亡	1	2	1	1	5	2	1		2	1	3		19
	入院	1				1	1		3				1	7
	家庭復帰					1								1
	その他													0

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度	0	159	8,117	10,270	9,612	28,158
今年度	0	313	7,166	12,278	8,017	27,774

平均要介護度	4.0
--------	-----

定員	29,200人	稼働率	95.12%
----	---------	-----	--------

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M
4	1	5	15	26	24	4	1

食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	粥	ミキサー	その他	常食	キザミ	超キザミ	ミキサー	経管	
41	32	7		19	26	27	8		80

事故報告状況

(延べ件数)

転倒・ずれ落ち	誤薬	誤食	誤嚥	裂傷	合計	保険適用件数	ヒヤリハット
4	15	0	0	0	0	19	146

※「転倒・ずれ落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限

苦情相談件数

(延べ件数)

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
0	0	1	0

身体拘束状況

(延べ件数)

4本柵対応	ミトン使用	介護衣着用	安全ベルト使用
0	0	1	2

従事者の状況

3月末現在

	管理者	医師	生活 相談員	介護支 援専門	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練 指導員	事務員	その他	合計
常勤(A)	1	0	1	1	45	3	1	1	2	1	56
非常勤(B)				2	4	1			1	5	13
非常勤の 常勤換算(C)				0.7	1.9	0.8			0.6	2.1	6.1
(A)+(C)	1	0	1	1.7	46.9	3.8	1	1	2.6	3.1	62.1

※厨房業務⇒グリーンハウスに業務委託

有資格者数

3月末現在

社会福祉士	1 人	正看護師	2 人
介護福祉士	31 人	准看護師	3 人
介護支援専門員	5 人		

短期入所(ショートステイ)事業年間利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													0
支援2													0
介護1													0
介護2									7				7
介護3												5	5
介護4													0
介護5													0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	5	12

## 行事報告

5月	花見ドライブ	各ユニットで、桜の花を見にドライブに出かけました。
8月	納涼夏祭り	各ユニットで、風船釣りをしたり、射的をしたり、屋台の食べ物を食べて祭りの雰囲気味わってもらい、夕涼みに手持ち花火をしました。
9月	9/24～10/6日 敬老週間	各ユニットで、喜寿・米寿・白寿・百歳以上の方にちゃんちゃんこを着てお祝いし家族会からの栗きんとんを食べていただきました。
10月	27日 開園15周年記念 (五平会食)	開園15周年を記念して、毎年恒例の五平餅会食を、各ユニットで職員も一緒に食べました。
12月	24日・25日 クリスマス会	各ユニットでクリスマス会を実施。入居者皆さんにプレゼントとクリスマスケーキを食べました。
12月	28日 餅つき	今年は花もちを各ユニットで作って季節を感じてもらいました。
2月	各ユニットで行事	節分の豆まきもユニットごとで実施。その他ユニットごとにお弁当を取ったり入居者さんとおやつを作って食べたり、映画鑑賞したりしました

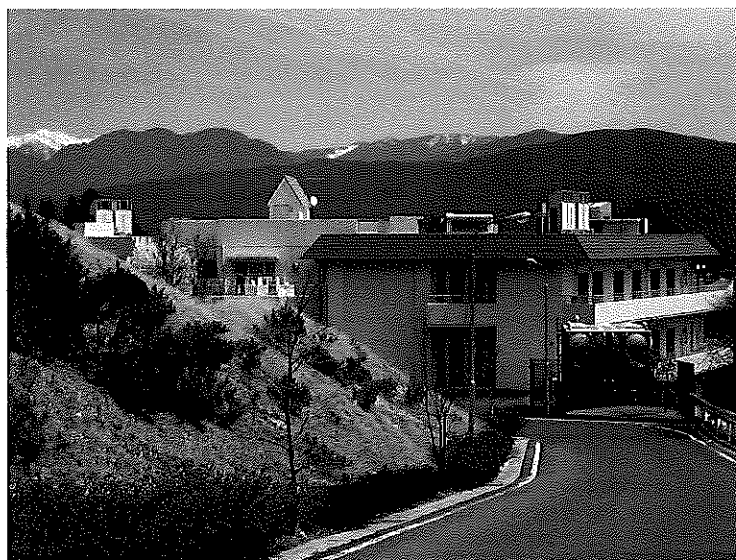
※今年度は、ソーシャルディスタンスや3密を避けることなど規制があり行事も縮小して対応しました。



会議・委員会の開催

会議	職員会議	月一度、各ユニット・各セクションが集まり、ケアの共有や情報の共有と統制等を図る
	リーダー会議	各ユニットのリーダーが集まり、ケアの充実・情報の共有と職員の統制を図る
	ユニット会議	毎月ユニット内でのケアの統一やユニットの問題点について話し合い
	担当者会議	月1度各ユニットで会議の日を決め実施。入居者の担当者を決め、個別ケアに向けての会議を実施
委員会	褥瘡委員会	褥瘡にならないように多職種で検討することや、なったときの対応を検討する 車椅子のクッションやポジショニングの研修実施
	感染症委員会	主にコロナウイルス感染予防及び感染対応の検討 ノロウイルス・食中毒等に感染しないよう予防策・対応策を周知徹底する
	防災委員会	災害時の防災に対し、いざという時の対応方法をマニュアル化し実施研修を行った
	介護・看護技術委員会	介護職・看護職の技術の向上、新人教育についての検討
	外部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症基礎研修・実践者研修・実践リーダー研修受講</li> <li>・安全対策担当者研修受講</li> <li>・事故防止研修受講</li> <li>・見取り研修受講</li> <li>・アンガーマネジメント研修受講</li> <li>・褥瘡研修受講</li> <li>・ハラスメント研修受講</li> <li>・虐待防止研修受講</li> <li>・心理学研修受講</li> <li>・キャリアパス生涯研修受講</li> </ul>
	内部	7/7・8 褥瘡研修 11/24 褥瘡研修 2月 危険予知研修 3/9 事故防止対策研修 3/23 口腔研修 3/23 看取り研修

令和 3 年 度  
事業 報 告 書



社会福祉法人五常会  
特別養護老人ホーム ニツ森  
ニツ森ショートステイ  
ニツ森デイサービスセンター  
ニツ森居宅介護支援センター

## 令和3年度 ニツ森拠点の目標、職員の行動に関する重要な柱「価値観」

平成16年1月の開設から18年が経過した。開設20周年を目前に、①拠点の持続可能な経営（予算統制）、②施設の老朽化対策、③職員の確保・定着を目的とした働き方改革を推進することを目的とし、拠点活動の在り方・目標を一新、令和元年度よりニツ森スタンダードを設定、3年目の事業を展開した。

『地域の皆様から期待され愛される福祉拠点でありたい』

- ・「気づき」と「優しさ」を以ってすべてのことにあたり、福祉の専門性を高めます。
- ・「あいさつ」と「コミュニケーション」を大切にし、人としての総合力を高めます。
- ・「介護のプロ」であることに自覚と誇りを持ち、地域福祉の安心安全に貢献します。

『新型コロナウイルス感染症感染者に対する倫理方針』

- ・私たちニツ森職員は、利用者、職員、その家族の健康と命を守るとともに、人権を尊重し、感染症の陽性者及びその関係者への不利益及び差別的な扱いを決して致しません。ニツ森ではそのような扱いを禁止します。

## 令和3年度 ニツ森拠点の事業概況

平成23年度末の現金資金残高を最高に、以降10年間は増加3回、減少7回となり、残高は大きく減少している。現時点で資金的に余力があるとは言えず、想定外な重大事象が起きた場合は自己再生できない可能性がある。それを回避すべく開設20年までの5年間を使い、損益体質並びに職員力の強化を図っている最中である。

しかしながら今期の拠点全体の事業成績は極めて厳しい結果（赤字計上）となった。

一昨年は黒字となったが、損益体質が継続的に改善したのではなく、様々な要因はあるものの一旦稼働率を下げるとすぐには上昇できない状況が続き、それを打破できない経営能力の乏しさやリーダーシップ力に最大の課題があることが明確となった。

各サービス区分においては損益改善を念頭に置いてはいるものの、コロナ感染対策を最優先するなかで現場の疲弊は視て分かる。それぞれの強みを活かし、介護の原点に返り、泣き言を言わず誠実に業務に励み、利用者や地域のために活躍する職員の奮闘が何よりの利益である。その成果を数字で示すことができず、誠に申し訳ない思いです。

損益改善を目的に一昨年見送っていた車両代替、主要設備の修繕等に着手したことも大きな費用の増加となった。損益結果は次のとおりである。

### 1. 収入と稼働率 (単位：千円)

サ区分	収入	前年	差異	前年比	稼働率	前年	前年比
特養	268,502	275,005	△6,503	97.64%	95.48%	98.40%	97.03%
S S	23,374	24,010	△635	97.35%	90.85%	92.98%	97.71%
D S	23,840	29,886	△6,046	79.77%	67.15%	76.51%	87.76%
居宅	9,473	8,676	+796	109.18%	820件	755件	108.61%
合計	325,191	337,579	△12,388	96.33%			

### 2. 人件費(拠点計)

人件費計前年差異 +1,139 職員給料△1,388、非常勤給与+4,373、派遣△2,487

### 3. 事業費・事務費増(拠点計)

事業費前年比 △343 給食△450、介護用品△821、保健衛生△738、水光熱+1,800  
事務費 // +3,959 修繕+3,136、手数料+225

### 4. 差額(拠点計)

	当期	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	H28年度
資金収支差額	△12,515	5,933	△1,122	△7,416	△2,864	△8,650
事業活動差額	△3,466	7,318	△1,612	△4,951	4,657	3,106

## 令和3年度 特別養護老人ホームニツ森 事業報告

ニツ森拠点は特養を主事業とし、小規模ながらもショートステイ、デイサービス、居宅介護支援事業を兼ね揃え、在宅を支えている。各サービス区分の損益は、ショートステイはわずかではあるが黒字、デイサービス・居宅介護支援事業は共に赤字でそれを特養が支えるといった構造となっている。拠点全体を黒字化させるためには特養の安定経営が重要であり、稼働率97%以上、経常増減差額1,000万円以上を最低限の達成基準としている。当年度の特養は、

	実績	目標	達成率
稼働率	95.48%	97.7%	97.72%
経常増減差額	7,531,576円	10,000,000円	75.31%

となりその結果、デイサービス・居宅介護支援事業の損益を埋めることはできなかった。

最大の要因は稼働率の経過による収入減少である。当年度の退所（逝去）者は19名と過去最大数となり（例年は10名程度）、これまでは先行していた入所者選定等に時間を要す等、次期入所までの空き期間が長期となってしまった。同時に人員減の影響により介護現場の運営が厳しくなっており、入所者選定の妨げとなっていたことも事実である。

サービス活動収益計 当期実績 268,502千円、昨年実績 275,005千円、△6,503千円

人員については、一昨年退職した介護職2名、看護職1名の補充が完了しないまま更に令和4年12月までに介護職3名、看護職1名の退職となり、特養シフトは一時非常事態となった。しかしながら12月～3月にかけて3名の介護職の採用が決まり、更に6月には看護職1名の内定が決まった。引き続き正規介護職（夜勤）2名の補充は必要である。

人件費 当期実績 183,246千円、昨年実績 182,008千円、+1,237千円

経費については、感染対策に関する諸材料の購入や対策が定着し、昨年比ではそれら関連費は大きく減少したが、昨年見送っていた設備修繕と新たな修繕の実施による修繕費の増加、電気代の高騰等により、事務費+事業費は昨年比+2,155千円となった。主な内訳は、

前年比	水道光熱費	+1,444千円、101.9%
	修繕費	+2,892千円、245.5%
	風呂用給湯設備リニューアル工事一式	1,150千円
	空調設備臨時保守点検・室外機修繕他	1,996千円
	非常用照明器具取替工事	990千円

## 当面の課題

- ・稼働率の向上 97%～97.5%の維持 ※定員55名中、53.5名入所
- ・介護職の採用 正規職2名（夜勤）の採用と育成
- ・職員の定着 令和4年度目標「退職者ゼロ」、面談・対話
- ・労働災害撲滅 令和4年度目標「労災ゼロ」※令和3年度3件（腰痛2、怪我1）

## 令和3年度 ニツ森ショートステイ 事業報告

年間稼働率：90.8%

※最低稼働率：81.9%（7月）、最高稼働率：95.4%（5月、8月）

年間で90%以上の稼働率が確保できたものの、昨年度の92.9%より下回る結果となりました。7月、10月、11月、1月は80%台に留まり、90%を超える月が昨年度より少なくなりました。

最低稼働率および最高稼働率が出る月が昨年度と違い、季節的な要因よりも月ごとの利用状況に大きな振れ幅があったことが主な要因であると捉えています。昨年度同様かそれ以上に、介護職・看護職には柔軟な受け入れや日々の介護に対する努力・改善を行ってきてもらい、事実、下半期の事故報告件数の減少など目に見える結果も出ていますが、所長が利用調整を行う段階で対応が追い付かなかったために、稼働率に影響することとなりました。

具体的には、今年度は特養でも退所者が多く、反面、毎月長期間ショートステイをご利用下さっていた方々がニツ森に特養入所できたケースも増えたのですが、ショートステイ側でもご逝去される利用者が多かったためにキャンセルの日数や発生頻度が例年より増加していた印象でした。通常であれば、キャンセル待ちの方々への交渉や居宅への空き状況の案内を素早く行う必要がありますが、感染対策による業務の圧迫により迅速かつ柔軟な営業活動が行えませんでした。

感染対策については、外部からの施設立ち入りを極力減らすために、物資納品時の運搬を施設職員で代行する・汚染物などを運搬の都度消毒作業を行う・消毒液のこまめな入れ替えや容器の洗浄・職員で対応できる修理や応急処置を行う、といった形でそれぞれ気付いた職員で対応しているために通常業務が圧迫され、業者対応を再度調整しようとする市内の感染が拡大する状況も繰り返していました。ニツ森に直接関係する利用者へは、厚労省や県からの呼びかけをいただく度に配布しており、一次的感染者やキャリアになることはありませんでしたが、他の事業所職員や利用される利用者家族での感染発生によりニツ森をご利用いただく利用者にも二次的感染・接触が発生し、その都度ご利用の可否を相談調整したり、保健所から指示が出なかった利用者に対し抗原定性検査を実施するケースが多くみられました。また、既にショート利用中の方に他所での接触の可能性が浮上するケースも多く、ワクチン接種が進んだとはいえ在宅事業の継続には常にリスクが伴うことを認識させられました。

今年度末には一部業者の立ち入りを許可できたことで時間の圧迫が軽減でき、ケアプランの作成も少しずつ取り掛かることができているのですが、未だに市内の感染拡大は続いており、引き続き動向を伺いながら対応を調整していくこととなります。次年度は今年度をベースに業績の向上を目標として、大幅なキャンセルの発生時も営業活動や速やかな利用調整を心掛けます。

入居状況

(実人数)

(人)

区分		男	女	合計
入居者数		8	44	52
年間	入所	4	12	16
	退所	3	16	19

	男	女
最高年齢	87	103
最小年齢	71	64
平均年齢	81.8	89.6
	88.5	

入退所状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所			1	1	1	3	1	2		2	1	2	2	16
内訳	在宅					1	1	1				1	1	5
	病院													
	老健他		1	1	1	2		1		2	1	1	1	11
退所者		1	1	2	2	2	3	1	1	1	2	2	1	19
内訳	死亡	1	1	2	2	2	3	1	1	1	2	2	1	19
	入院													
	家庭復帰													
	その他													

利用状況

(延べ人数)

年度	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
前年度			2,495	9,585	7,663	19,743
今年度			2,826	8,608	7,719	19,153

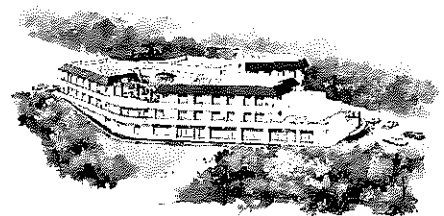
平均要介護度	4.3
--------	-----

定員	20,075人	稼働率	95.41%
----	---------	-----	--------

認知症日常生活自立度

3月末現在

自立	I	IIa	II B	IIIa	III B	IV	M
	3	3	3	19	2	21	1



食事形態

3月末現在

主食				副食				その他	入所者数
常食	軟飯	粥	ミキサー	常食	きざみ	極きざみ	ミキサー	経管	
7	18	14	12	12	10	17	12	1	

※副食・常食に『一口大』含む

事故報告状況 (特養・SS)

(延べ件数)

転倒・ずれ落ち	誤薬	誤食	誤嚥	裂傷	合計	保険適用件数	ヒヤリハット
2	16	0	5	0	23	2	475

※「転倒・ずれ落ち」「誤食」「裂傷」は入院通院した事故に限る

苦情相談件数

(延べ件数)

ケアの内容	個人の嗜好	職員の対応	その他
0	0	0	0

身体拘束状況

(延べ件数)

4本柵対応	ミトン使用	介護衣着用	安全ベルト使用
2	0	0	1

従事者の状況 ※ニツ森拠点合計

3月末現在

	管理者	医師	生活相談員	介護支援専門員	介護職員	看護職員	栄養士	機能訓練指導員	事務員	調理員	その他	合計
常勤(A)	1		3	4	19	2	1	(1)	2			32
非常勤(B)		2			22	4		(1)			4	32
非常勤の常勤換算(C)		0.1			14.8	4.2					2.1	21.2
(A)+(C)	1	0.1	3	4	33.8	6.2	1	(2)	2		2.1	53.2

※機能訓練指導員は看護職員兼務のため合計数には含めず

※厨房業務→日清医療食品に業務委託

有資格者数 ※ニツ森拠点合計

3月末現在

社会福祉士	0 人	正看護師	1 人
介護福祉士	39 人	准看護師	6 人
介護支援専門員	10 人		



短期入所 (ショートステイ) 事業年間利用状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
支援1													
支援2													
介護1	2	6	2	7	2	7	8	10	14	18	12	14	102
介護2	22	29	17	15	17	19	13	7	7	14	13	13	186
介護3	21	21	21	25	27	24	36	31	36	27	32	17	318
介護4	67	67	69	39	31	38	43	39	46	39	27	49	554
介護5	26	25	31	41	71	49	38	40	44	38	49	46	498
合計	138	148	140	127	148	137	138	127	147	136	133	139	1,658
昨年度利用状況	141	121	141	145	148	141	147	147	141	148	130	147	1,697
利用定員	1,825人		稼働率	90.85									

## 令和3年度 ニッ森デイサービスセンター 事業報告

目標稼働率を78,5%に定め、令和3年度が始まりました。4月以前から稼働率は下降している状況のなか、入院や入所等による利用中止が重なり、更には看護師の退職により新規受け入れができない状況となりました。看護師の退職により加算の取り下げを余儀なくされる状況となりました。これらの状況により職員のモチベーションも低下し、レクリエーション等のサービスにおいてはマンネリ化・簡素な物の提供しかできませんでした。

11月～12月にかけて新型コロナウイルスによる影響で10日間の営業休止となった事も稼働率を低迷させる要因でした。利用者・ご家族にはご心配・ご迷惑をおかけしました。しかしながらご家族からは励ましのお言葉を多くいただきました。

その中で、看護師1名（週1回勤務）、介護職員1名（常勤）を採用することができ、またニッ森居宅においても1名ケアマネジャーの増員があったことで新規の依頼が増加しました。この機を取り逃がさない様に、2月3月は来年度に向けての土台作り重点を置きました。2名の雇用により新規の受け入れを調整する事ができ、新しい体制を整えて4月にはより良いスタートを切れるようにしたいと考えております。



2021年度日本郵便年賀寄付金配分事業による福祉車両の購入（代替） 2021年7月2日納車



令和3年度 稼働状況等報告

指定番号	2171500701			定 員 (A)		10人		総合事業 A6有
事業所名	ニッ森デイサービスセンター			3月利用実人員		26人		
運営時間	8時30分～17時30分			稼働日		月～土(年末年始を除く)		
報酬単価  各種可算 要介護 円/回 要支援 円/月	介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	7h～8h単価	16,720	34,280	7,500	8,870	10,280	11,680	13,080
	入浴加算			400	400	400	400	400
	サービス提供体制強化 加算(I)イ	880	1,760	220	220	220	220	220
	介護職員処遇改善加算 (I)	1,038	2,126	479	560	643	726	808
	介護職員特定処遇改善 加算 (I)	211	432	97	114	131	148	164
	※2 昼食・間食	690×利用回数	690×利用回数	690	690	690	690	690
	※2要支援1・2の昼食間食は 利用料日額合計	18,850	38,599	9,387	10,854	12,364	13,863	15,363

要支援は一か月単価表記

	令和3年度実績	令和2年度実績	前年比較	苦情	
稼働日数	299日	309日	-10	令和3年度	令和2年度
平均年齢	86.7歳	85.63歳	1.07	0	0
男女別人員	男487人 女1,523人	男599人 女1,750人	—	第三者委員へ報告数	
平均介護度	2.7	2.9	-0.2	事故	
要支援 I	0	65人	-65	令和3年度	令和2年度
要支援 II	5人	人	5	2	1
要支援合計	5人	65人	-60	保険適用件数3件	
要介護 I	574人	394人	180	職員等の状況	
要介護 II	513人	566人	-53	兼務の場合は主職種	
要介護 III	252人	419人	-167	常勤	非常勤
要介護 IV	396人	580人	-184	管理者	1
要介護 V	270人	325人	-55	相談員	1
要介護合計	2,005人	2,284人	-279	介護士	4
年間総合計	2,010人	2,349人	-339	看護師(機能別)	1.5
年間総定員	2,990人	3,090人	-100	支援	
稼働率	67.22%	76.02%			
計画数	2,317人	2,480人	-163		
達成率	86.75%	94.72%			

## 令和3年度 行事報告

月	行事名	内容【各一週間目処】		
4	ゲーム	リハビリを兼ねたゲームや体操	体重測定	
	季節の工作	五月に向けての飾りの工作		
5	季節の工作	五月飾りの工作		
	ゲーム	リハビリを兼ねたゲームや体操		
6	季節の工作	紫陽花の飾り作り		
	脳トレゲーム	認知症予防を兼ねた脳トレゲーム		
7	季節の工作	七夕飾り工作を作成し、季節を感じていただく	体重測定	
	ゲーム	リハビリを兼ねたゲームや体操		
8	季節の工作	花火・うちわの飾り作り		
	脳トレゲーム	認知症予防を兼ねた脳トレゲーム		
9	季節の工作	みかんの木の飾り作り		
	敬老の日	「敬老膳」を用意し敬老を祝いする		
10	運動会	チームに分かれ、各種目に取り組む	体重測定	
	季節の工作	ブドウの木の飾り作り		
11	季節の工作	紅葉やいちょうを折り紙で飾り作り		
	脳トレゲーム	認知症予防を兼ねた脳トレゲーム		
12	忘年会	1年の活動を写真のスライドショーで振り返る		
	季節の工作	リースやツリーの飾り作り		
1	正月遊び	かるた等で正月遊びのゲーム	体重測定	
	脳トレゲーム	認知症予防を兼ねた脳トレゲーム		
2	節分	豆まきを行い、無病息災祈願		
	節分飾り	鬼の飾り作り		
3	桃の節句	お雛様のゲームや飾りを作る		
	ゲーム	リハビリを兼ねたゲームや体操		
年間通して		誕生日会（各月） 口腔体操(毎日)・リハビリ体操(毎日)		

※尚、各行事に不参加の方にはその都度、各利用者に適した個別レクリエーションを提供

※生活に則した機能訓練や平行棒での歩行訓練は、日課の中で希望者へ提供

## 令和3年度 ニッ森居宅介護支援センター 事業報告

令和3年度は、4月から11月は専任者2名・常勤兼務1名体制、12月以降は専任者1名入職により、専任者3名・常勤兼務1名体制で、居宅介護支援事業を適正に行いました。昨年同様、恵北・苗木地区のお客様や中津川市地域包括支援センターからの委託により介護予防の支援の受け入れも引き続き行いました。12月に専任者が1名増員になった為、新規の受け入れを積極的に行える状況となった事、近隣の居宅介護支援事業所が新規の受け入れを控えた事が重なり、大幅なお客様の獲得となりました。お客様が住み慣れた自宅で生活を送れる様に個々のニーズに沿ったケアマネジメントを行う事を支援の軸として、各関係各所と連携を取りながら進めています。また、医療依存度の高い方、困難事例の対応についても、行政、医療、各介護保険サービス事業者、地域包括支援センターと連携を図り対応しました。

### ※新型コロナウイルス感染が拡大の中でのケアマネジメントについて

令和3年度も緊急事態宣言、まん延防止等重点処置発令中は、訪問を控えさせていただき電話にて対応、解除後は感染防止対策を徹底し訪問にて状況確認を行いました。訪問自粛により、ご本人に面会できない場合の状況把握などは介護保険サービス事業者より情報提供をお願いしました。このようなやり取りにより、支援側のチームワークもより強化できたと考えます。

研修・勉強会が開催中止となる中、恵北部居宅介護支援との勉強会、ZOOMによる研修には勉強の場として積極的に参加しました。

### ※令和4年度に向けて

令和4年度も引き続き、親切・丁寧を心掛け、'ニッ森居宅介護支援センター'をより多くのお客様に選んでいただける様に、お客様一人一人のニーズに添えるように心掛けます。お客様が住み慣れた自宅での生活が継続できるように、各事業所、医療、行政、地域包括支援センターとも連携を図ります。より多くの事例に対応出来る様に、知識の幅を広げていきたいと考えています。

令和3年12月専任者1名入職した事で、特定事業所加算Ⅲの算定基準を満たし、中津川市へ特定事業所加算Ⅲの取得を申請しました。（令和4年4月より算定許可下りる）

令和3年3月31日現在

◆登録者 85名

内訳 利用者 74名（要介護53名 要支援21名）

未利用者 8名（要介護3名、要支援5名） 入院・入所3名（要介護3名）

<備考>

◆令和3年度 新規・終了

新規24名（未利用者4名含む）

中止10（ご逝去3名、居宅変更1名、施設入所6名）

## 令和3年度 要介護度別国保請求内訳

対象月	要介護度別内訳							国保請求	実件数	
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5			
4月	件数	7	9	23	11	7	2	5	64	63
	金額	30,660	39,420	291,520	139,180	112,390	32,200	80,500	725,870	
5月	件数	7	9	22	11	9	2	6	66	65
	金額	30,660	39,420	272,360	136,180	144,900	32,200	99,290	755,010	
6月	件数	7	9	22	11	8	2	4	63	64
	金額	30,660	39,420	272,860	136,180	128,800	32,200	64,400	704,520	
7月	件数	8	8	23	14	7	2	5	67	66
	金額	38,096	35,040	290,240	181,320	119,200	32,200	81,500	777,596	
8月	件数	7	7	24	13	8	3	5	67	67
	金額	33,716	30,660	300,620	160,940	131,800	52,490	80,500	790,726	
9月	件数	7	7	24	13	7	4	5	67	66
	金額	30,660	30,660	297,120	162,940	112,700	67,400	80,500	781,980	
10月	件数	7	6	26	13	6	4	5	67	68
	金額	30,660	26,280	330,130	160,810	96,480	64,320	80,400	789,080	
11月	件数	7	5	26	14	6	7	5	70	68
	金額	30,660	21,900	325,120	176,180	96,480	115,560	80,400	846,300	
12月	件数	8	6	26	13	8	5	6	72	71
	金額	41,152	26,280	325,120	164,310	128,640	80,400	99,480	865,382	
1月	件数	9	6	26	16	6	5	4	72	72
	金額	42,476	29,336	322,120	205,420	96,480	80,400	64,320	840,552	
2月	件数	8	8	23	14	7	4	5	69	70
	金額	35,040	41,152	290,300	184,470	112,560	68,820	80,400	812,742	
3月	件数	10	11	25	13	6	4	7	76	74
	金額	49,912	51,236	321,750	161,310	96,480	67,320	115,560	863,568	
合計	件数	92	91	290	156	85	44	62	820	
	金額	424,352	410,804	3,639,260	1,969,240	1,376,910	725,510	1,007,250	9,553,326	

※介護報酬加算 介護給付：要介護1～2 12,380円（介護給付には特有加算あり）

要介護3～5 16,100円（ ）

◇令和3年9月まで感染症対策として0.1%上乗せ分あり

（令和3年10月以降 要介護①②/12,370円 要介護③～⑤/16,080円）

※介護予防支援業務委託料 初回作成 7,436円 継続作成 4,380円